

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。(2021年5月8日までにご連絡をいただいた方々)

回生	氏名	死亡年月日	回生	氏名	死亡年月日	回生	氏名	死亡年月日	回生	氏名	死亡年月日	回生	氏名	死亡年月日
36	吉江 住次	2020/6/20	49	五味 聖伯	2019/12/15	57	塚原 重雄	2017/	63	間部 武人	2020/5/22			
39	平林 義郎	2020/9/26	49	白鳥 貞幸	2018/7/17	57	林 道子	2020/11/24	64	小口 興一	2021/4/9			
40	西村 伸	2020/3/3	49	田中 信昌	2020/2/18	58	今井 清水	2020/5/24	64	北沢 和彦	2020/12/16			
40	宮坂伊兵衛	2015/5/3	49	宮坂 久臣	2020/8/2	58	今井 正喜	2020/9/13	64	小泉 壽弘	2019/10/14			
41	関 洋治	2019/3/8	49	矢崎 幸雄	2018/2/7	58	笠井 昌己	不明	64	武井 元昭	2017/10/17			
42	藤森 正	2021/1/17	49	矢沢 英住	2021/4/9	58	小平 克	2020/1/12	64	浜 正一	2020/7/24			
43	今井 照隆	2018/7/7	50	伊藤 友久	2019/11/4	58	寺島 亮三	2020/1/16	64	林 直司	2020/2/20			
43	小松 清美	2020/10/30	50	小坂 幸三	2016/6/10	59	赤羽 義章	2020/8/21	65	岡西 良政	2020/10/28			
43	矢花 和一	不明	50	繁宮 治夫	2016/4/30	59	大久保数万	2020/2/16	65	増沢 邦英	2020/9/20			
44	河西 芳郎	2011/5/7	50	寺島 敏郎	2021/3/30	59	金子 巻夫	2020/5/4	66	佐藤 武夫	2021/2/24			
44	鈴木 能彦	2016/6/7	50	中村 平治	2021/3/17	59	窪田 賢吉	2021/3/20	66	宮坂 正昭	2018/9/1			
44	新村 恒雄	2018/12/29	50	藤森 千弘	2020/3/7	59	中山 二彦	2017/5/22	67	中島 貴司	不明			
44	仁科 光雄	2015/8/22	50	宮坂 力夫	2020/10/17	59	矢崎 邦彦	2021/1/28	67	林 武昭	2020/2/8			
44	遊坐 昭	2012/	50	矢島 幹	2017/6/2	59	山田 潔	2018/11/19	68	深澤 豊	2021/3/29			
45	小菅 重男	2021/4/26	51	有井 芳雄	2018/5/27	60	小川 博巳	2016/11/12	68	降旗 盛	2019/1/5			
45	清水 政次	2021/2/8	51	神山 正夫	2019/1/29	60	上島 弘	2019/7/28	68	伊藤 重利	2020/5/1			
45	立石 久雄	2019/7/26	51	木川 次男	2019/4/11	60	桑澤 清明	2014/6/27	68	村山 哲	2021/1/17			
46	篠原 昭登	2020/6/28	51	小泉 伸蔵	2021/1/12	60	小池 成和	2020/7/2	68	山下 博久	2019/11/30			
46	武井 厚隆	2020/8/11	51	塩澤 秀登	2015/3/6	60	小松 董	2017/10/30	69	岩波 敏正	2020/6/3			
46	長田 昭二	2020/2/21	51	藤原 健一	2019/5/11	60	笹岡 拓雄	2017/12/21	69	小口 牧通	2020/6/2			
46	保延 和夫	2019/7/	51	細川 昭八	2020/7/21	60	佐藤 宏	2021/4/3	70	両角 泰男	不明			
46	原 正男	2019/7/10	51	宮沢 弘	2018/6/25	60	土屋 隆	2020/5/31	71	加藤 博明	2020/2/19			
46	細川 昭	2020/12/14	51	柳平 直明	2019/11/5	60	小平 利昌	2018/11/1	71	北原登良雄	2021/2/25			
47	石井 栄一	2019/11/2	52	石原 佑浩	2019/8/8	60	深見 靖正	2019/10/8	71	堀田 新	2015/9/11			
47	斉藤 栄一	2018/9/14	52	友野 弘	2020/2/25	60	吉山 善博	2020/12/6	72	帯川 茂	2020/10/27			
47	長崎 昭治	2020/9/5	52	菱田 淳二	2020/2/20	61	上田 益弘	2019/4/30	73	小池 廣和	2020/10/7			
47	花岡 和夫	2019/9/23	52	林 尚孝	2020/11/27	61	加藤 斉	2018/5/13	73	小林 正和	2020/4/20			
47	原藤 文夫	2020/5/24	52	林 八郎	2020/10/6	61	五味 平典	2020/3/30	73	矢崎 和久	2021/4/3			
47	細田 源一	2020/7/15	52	松沢 則夫	2020/3/19	61	土橋 勉	2020/6/8	75	河西 洋	2020/11/10			
47	松澤 國夫	2021/2/7	56	小坂万亀登	2019/5/28	62	青木 秀昭	2020/3/6	76	林 友則	2019/8/10			
47	宮坂 勝	2020/3/6	56	神宮宇 剛	2018/3/1	62	鮎沢 智明	2012/11/30	77	柳澤 美葉	2015/7/3			
48	児玉 光章	2019/7/17	56	武井 謙	2016/6/27	62	笠原 俊城	2016/6/5	79	小笠原治臣	2020/1/27			
48	小林 一明	2019/10/17	56	藤森 三男	2020/3/末	62	小松 宏	2015/6/6	79	原田 健司	2020/5/25			
48	塩原 俊	2019/9/2	56	丸山 彦明	2019/5/7	62	佐藤 仁宏	2020/9/20	79	山田 覚	2015/5/28			
48	中村 善行	2020/9/17	56	宮坂 宰志	2019/5/26	62	林 忠広	2019/12/26	82	熊沢 豊	2018/7/25			
48	名和 孝夫	2020/12/19	56	宮沢 亨雄	2019/11/22	62	細川 宣臣	2015/11/22	82	宮坂 浩志	2020/7/1			
48	渡辺 芳臣	2020/7/5	57	伊藤 廣美	2016/7/7	62	宮坂 崇弘	2020/9/18	83	渡辺 信夫	2015/5/5			
49	阿部 孟	2019/2/21	57	小口 敏之	2020/12/16	63	小澤 正東	2020/10/25	89	林 広明	2005/3/28			
49	今井 裕雄	2015/7/10	57	黒河内謙一	2019/8/7	63	小松 謙郎	2018/7/17	99	濱 由美子	2020/1/8			
49	笠原善市朗	2020/4/26	57	佐藤 栄一	2020/11/3	63	嶋倉 通朋	2019/12/20	120	中村 詩織	2020/5/7			

事務局だより

- ◎新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、同窓会総会・支部総会・幹事会等の会合が、延期や中止となって同窓会活動に多大な影響を及ぼしております。会合を持つ場合には、三密「密閉・密集・密接」を避けながら、マスク着用、飲食・会食を避け、短時間に行う事とし、電話やネットを最大限活用して頂きたいと思ひます。
- ◎各支部の総会が開られない状況の中、支部の財政状況も逼迫していることから、各支部へ「支部活動助成金」を今年度(2020年度)に限り、お振込みしました。
- ◎同窓会長を長年して戴いた宮坂久臣様(49回生)、林尚孝様(52回生)の両名の方が、今年度ご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。尚、宮坂様のご遺族の方より遺志金として、500,000円を戴きました。同窓会の一般会計へ入れさせて頂き、活用したいと思ひます。

編集後記

清陵同窓生の皆さまに同窓会報47号をお届けします。会報制作にあたり、中村会長・矢澤事務局長はじめお導きくださった同窓会役員の皆さま、広告・支部報告やご寄稿等にご理解ご協力くださった全ての皆さまに御礼申し上げます。また、広告・原稿収集時の不手際によりご迷惑をお掛けした皆さま、厳しくも温かいご指導ご鞭撻・ご心配を頂戴した先輩方のお心遣いに支えられ、何とか発行にこぎつけました。この場をお借りして心よりお詫びと感謝をお伝えします。

新型コロナウイルス感染拡大に明け暮れて一年が過ぎ、会報のキーワードは“新型コロナ”で一致しました。私達88回生は2015年に“卒業30周年大同窓会”を行った経験

- ◎同窓会のホームページをリニューアルしまして、一年経過しましたが、新型コロナウイルス感染拡大に対応し、随時更新しております。支部や同年会等の情報もリンク出来ますのでご利用下さい。
- ◎毎年10月中旬に母校の「諏訪湖一周マラソン大会」が行われて、多くのOBの方々に参加されております。これから数年の間「諏訪湖サービスエリア」に「諏訪湖スマートインターチェンジ」を設置する工事が予定されており、近辺道路工事が行われ「うしまさ坂の碑」でのレモン配りについては「うしまさ坂保存会」と協力して臨機応変にして行きたいと思っております。
- ◎事務局
TEL/FAX: 0266-58-0356
E-mail: dousoukai@suwaseiryoy.jp
ホームページ: <http://www.suwaseiryoy.jp/>
事務局長: 矢澤博(69回) 月・木(10:00-16:00) 原則勤務
携帯電話: 090-3312-1469

から横の連携は円滑に進み、世界中・多業種の88回生が寄稿依頼に応じてくれました。「紅や」支配人(88回生)の手配で少人数の打合せを頻繁に行い、母校教頭(現校長:88回生)には現役中高校生からの寄稿を依頼しました。会報に載せきれない寄稿文、73回生の小松宏昭氏ご提供の「ボロボロ校舎写真」を同窓会WEBサイト(P.11参照)に掲載しましたので、是非ともご覧ください。続々と現れる変異株など、いまや“千萬人”に取って代わった“COVID-19”といえども清陵精神で乗り越え、それぞれの“アフターコロナ”を切り開いていきましょう。

(当番学年88回生 編集後記担当 両角真幸)

清陵同窓会報

自反而縮雖千萬人吾往矣

第47号 発行: 諏訪清陵高校同窓会 発行人: 同窓会長 中村 博 編集担当: 第88回生(昭和57年入学)
同窓会事務局: 〒392-8548 長野県諏訪市清水1-10-1 TEL: 0266-58-0356

自反而縮雖
COVID-19 吾往矣

中国湖北省武漢で2019年12月15日初めて感染者が確認された新型コロナウイルス感染症。その勢いは1年以上たっても衰えることなく、未だに世界中の人々が感染を恐れ、with コロナ自粛生活を余儀なくされている。こうした中で「この世を覚ます床虫」たる清陵同窓生はこのコロナ禍にどのような向き合い、そして来るべき after コロナの新世界に向けてどう行動するのか。各界で活躍する清陵同窓生からの報告をもとに、100年に一度のこの歴史的な事態について考えたい。

2021年度定期総会のご案内

2021年6月26日(土)

総会・懇親会 中止

新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、総合的に判断し、総会・懇親会を中止することといたしました。総会での決議事項については、幹事会での書面決議とさせていただきます。本会報に記載の議案にご意見のある方は、諏訪清陵高校同窓会までお知らせください。

講演会・談論会

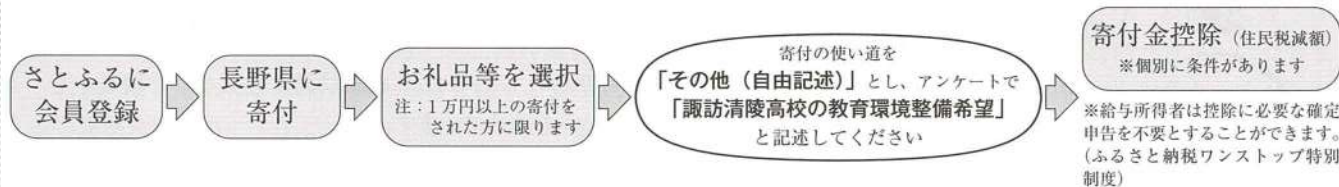
オンライン開催
15時より17時まで

上記テーマにてオンライン講演会・談論会を開催します。参加を希望される方は、6月25日(金)までにメールにてお申し込みください。お名前、回生、お住まいの市町村を明記してください。お申込みいただいた方に、後日接続方法等をメールでお知らせします。申込先: suwaseiryoy.dosokai.kanji@gmail.com

(幹事88回生 次年度幹事89回生 サブ幹事98回生・108回生)

長野県外在住の同窓会員の皆様へ

ふるさと納税制度 を使って間接的に 母校への寄付 ができます



ホームページから簡単に

さとふる www.satofull.jp

[お問い合わせ] 諏訪清陵高校事務局
TEL: 0266-52-0201 Mail: seiryoy-hs@pref.nagano.lg.jp



トライアルの年に！

同窓会長 中村 博 (72 回生)

会員の皆様方には、日頃から母校の発展に対しまして、深いご理解とご支援を戴いておりますことを厚く御礼申し上げます。

この一年は、コロナウイルスの感染拡大により、我々の生活が大きく変わってしまいました。

学校も政府の要請そして国からの緊急事態宣言により、昨年3月から5月まで休校となり、学習活動に多大な支障を来すことになってしまいました。

その後、緊急事態宣言は解除されたものの大変制約の多い中での学校生活となってしまいました。そのような中ではありましたが、先生方そして生徒の皆さんが大変ご苦労され、知恵を絞って工夫をしながら学校生活を送ったと聞いております。

同窓会の活動もメインイベントの6月の定期総会を延期、そして各支部の総会もそのほとんどを中止せざるをえなくなっていました。

現在は、コロナウイルスのワクチンの効果、感染状況を見守っているところでありますが、今後どうなるかまだ感染収束が見通せない不透明な状況にあります。このままの状況が続くと学校との関係、同窓会としての結束、会員相互間の繋がりが希薄になってしまうのではないかと心配しております。

この一年で社会でのリモートワークは拡大し、我々の生活に浸透してきています。ですから、これらITを駆使しながら、同窓会の活動の仕方も工夫していきたいと考えております。

そういう意味で、この一年は、これからの同窓会活動を模索していくトライアルの年にしたいと考えております。

人類の歴史は、ウイルスや細菌等との戦いの歴史であったと思います。

しかし、一方で人とウイルス等とは、お互いに深く関わり合いながら暮らしてきたのも事実です。結局はどのよう

に付き合っていくのかの問題ではないかと考えております。

このコロナウイルスも集団免疫が増え、いずれ収束していくとは思いますが、感染が収束に向かっても我々の生活は元には戻らないと思います。

100年前のスペイン風邪そしてペストが感染拡大したのが14世紀半ばです。いずれも徐々に収束の方向に向かっていきましたが、人々の生活は元には戻りませんでした。

ペストについて言えば、これを機に、人々に物事の原因を究明し真理を求める探求心が強く芽生えルネサンスの時代に本格的に入っていました。

時代は大きな転換期を迎えた訳です。

今回のコロナ後も今までにない大きな時代の転換期を迎えるのではないかと考えています。

そして現在教育も大きな転換期を迎えております。人口減少も一因ですが、第四次産業革命と言われております技術革新が我々の価値観・ライフスタイルを大きく変えつつあるからです。そして又今回のコロナがそれを強力に後押しすると思われるからです。

そのような中、軌道に乗り始めている清陵の中高一貫教育が実を結び、新しい時代を切り開いていける人材を一人でも多く輩出して欲しいと願っております。

我々同窓会が少しでもそのお手伝いが出来ればと考えております。

この一年コロナ禍ではありましたが、関係者のご努力により、同窓会の女性部の組織もしっかりとした組織になってきております。更なる清陵女子そして若い人達の同窓会活動への参加を期待しております。

会員の皆様方には今後も引続き同窓会の活動につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

退任にあたって



前学校長 三枝 是

中村博同窓会長様はじめ同窓会の会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より母校発展のため物心両面にわたって多大なご支援を賜り厚く御礼申し上げます。私は、第34代校長として、平成31年度（令和元年度）より諏訪清陵高等学校ならびに附属中学校の校長を務めさせていただきましたが、この春2年間の務めを終え、定年退職する運びとなりました。本校の更なる充実・発展のため、微力を尽くしてきたつもりですが、今後につきましては、後任にすべてを託して参りたいと存じます。皆様方からのこれまでのご指導ご鞭撻に心より感謝申し上げる次第であります。

令和2年度を振り返りますと、入学式を無事終えることができたことと胸をなでおろしたのも束の間、再び2か月近い休校を余儀なく判断するという事態になりました。この間、生徒には授業に代わる自習課題を郵送したり、新しくオンライン授業を構築したりと学校職員一丸となって学習の保障に全力を注いでまいりました。しかし、生徒に次々と残念な知らせが届きます。それは、運動部や文化部の大会中止決定の連絡です。最後の大会と意気込んできた3年生にとって、それはあまりに悲しい出来事でした。

6月1日以降、学校を再開いたしました。本校としては、早期に学習の遅れを取り戻すこと、感染症対策の徹底を図ること、感染リスクの高い活動は中止することを念頭に、その後の諸活動のすべてを見直し、文化祭は1日の限定開催、夏休みを大幅に短縮し、伝統行事である端艇大会・湖周マラソンについては中止という苦渋の決断をしました。その結果、10月末には、授業は例年のペースに追いつき、3年生が平常心で受験に向かっていける環境整備ができたと思います。

令和3年1月に実施された大学共通テストには、希望者全員が当初日程で受験を終えました。今回は、学校推薦型で応募する生徒が増加する一方、例年同様、私大入試、国公立の前期・後期日程と卒業式を挟んでの受験に挑んだわけでありました。昨年度は、本校としては、久しぶりに東大、京大といった超難関大に現役合格を果たす生徒が出るなど大きな成果があったところですが、今年度におきましても、東大は、現役合格こそ叶いませんでしたが、再チャレンジの附属中1期生が見事合格を果たしました。現役生も京都大1名名古屋大6名ほか難関大に昨年度に続き、2桁を超える生徒が合格を果たすなど、コロナ禍の中における生徒諸君のたゆまぬ努力と健闘を心より称えたいと思います。

最後に、諏訪清陵高等学校と附属中学校に学ぶ生徒の今後益々の活躍と同窓会の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、退任の挨拶といたします。

ご挨拶



学校長 小口 雄策

同窓会長の中村 博様はじめ諏訪清陵高等学校同窓会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より母校発展のため、物心両面にわたって多大なご支援を賜り厚く御礼申し上げます。3月末をもって退職された三枝 是校長の後任として、4月より第35代校長として、諏訪清陵高等学校ならびに附属中学校の校長を務めさせていただいております。百二十六年の歴史と伝統をベースに、県下に先駆けてのSSH、そして中高一貫教育を力強く推進してきた本校の更なる充実と発展のため、誠に微力ではありますが、昨年度までの二年間、本校の教頭を務めた経験と本校88回生としての責任のもと、着実に歩みを進めてまいりたいと存じますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年度は、本校ばかりでなく全国のすべての学校の教育活動が、新型コロナウイルス対応に追われた一年でした。そして、その対応の中で学校のあるべき姿を考えさせられた一年でもあり、今まで一括りにされていた「学び」を「学校でなくてもできる学び」と「学校でなければできない学び」とに明確にすることができました。今年度は、「学校でなければできない学び」を大切に考え、清陵高校、附属中学校ともに、その成果が生徒に還元される授業改善を推進していく所存であります。

新型コロナウイルス発生から一年以上が過ぎた現在においても、感染が心配される状況が大きく変わることもなく、マスク着用での学校生活が日常となっていますが、おかげさまで本校においては、コロナ前と何ら変わらない通常授業を実施することができております。たとえ感染が拡大し、休校措置をとらなければならない状況になったとしても、教育活動を継続させるために、オンライン学習に係るICT環境の整備が完了しております。さらには、今年度の新入生から、休校時のオンライン学習ばかりでなく、ICTを活用した授業やSSHに係る探究活動等に利用するため、1人1台タブレット端末を導入することにいたしました。探究活動の幅がより一層広がることが期待されます。

最後になりますが、今年度の年間行事計画表には、昨年度コロナ対応で中止せざるを得なかった伝統の「端艇大会」および「湖周マラソン」の言葉が並び、生徒たちは二年ぶりの開催を待ち望んでおります。湖周マラソンにつきましては、多くの同窓会の皆様のご参加をお待ちしておりますのでよろしくお願いいたします。

母校の近況等をお伝えし、また、同窓生の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げて、ご挨拶といたします。

真澄



MASUMI
SUWA 1662

七号酵母へ原点回帰

調和のとれた味わいで食卓に集う人々の心を結びたい ——

そんな想いで、酒造りの主役である酵母を七号系自社株(1946年に諏訪蔵で発見された親株から選抜を重ねた優良酵母)へ回帰させるプロジェクトを進めています。



真澄ホームページ

七号酵母発祥蔵元

宮坂醸造株式会社

〒392-8686 長野県諏訪市元町1-16
TEL: 0266-52-6161 FAX: 0266-53-4477

特集 自反而縮雖 COVID-19 吾往矣

新型コロナウイルス感染症の急激な拡大に始まり、再度のリバウンドの兆しに暮れた2020年。緊急事態宣言による全国的な休校で自宅学習を余儀なくされた学生達。長期にわたり停滞する経済活動。この未曾有の1年を学生諸君、同窓生諸君はどう受け止めて来ただろうか。現役の清陵生や大学生、各界で活躍する88回生達から寄せられたWithコロナ体験記を基に、来るべきAfterコロナの新世界に向けて「此の世を覚ます虫虫」たる清陵同窓生として、我々は如何に行動すべきかについて考える。

教育の現場から ※学年・回生は令和3年3月時点

小林 倫士 (中学1年)

小学校の卒業式・中学校の入学式の規模縮小、3か月間の臨時休校、様々なイベントの中止など、私はコロナウイルスによってさまざまな機会を失ってしまいました。

しかし、このコロナウイルスに、今まで体験したことのない特別な機会を与えられたと思います。例えば、学級長として企画・運営した学年レクでは、制限のある中で、入学後あまり話す機会がなかった学年の仲間と交流を図ることができました。

コロナ禍だからこそ成長できたこの機会をこれからの人生に生かしていきたいです。

島田 憲人 (中学2年)

今、私がこの文を書いているこの時も、各地で医療従事者の方々が新型コロナウイルスと闘っています。

私がこの約1年間で抱いた最も強い感情は「感謝」です。病院で働いている母の影響もあって、医療従事者の方々が直面している逼迫した状況をより身近に感じていました。

これからも自分の手が届かない世界で、常に闘っている方々がいるという事実を強く心に留めて生活していきたいと思っています。

芦川舞奈 (中学3年)

休校が終わり、学校に行けるようになったとき、私は今年度どのように校友会を運営していけばいいか分かりませんでした。中でも、急遽行わせていただけたことになった清陵祭代替企画「学の日」は、何をやるかを決めるところからのスタートでした。学校も、そして地域も明るくできるような企画をやりたいという気持ちがあり、役員で毎日考えた結果、花火を描くことになりました。学校での話し合いだけでは決まらず、慣れないICT機器を使い、リモートで話し合ったこともありました。完成した花火は、上諏訪駅とすわっちゃおに展示していただき、コロナ禍で花火大会が中止になってしまった分、自分たちの花火で地域を盛り上げることができたと思いました。できなかったことはたくさんありましたが、その分新しいことに挑戦できた1年でした。

坂元 夏希 (高校1年)

私たちの高校生活は、異例なスタートでした。入学式直後の休校で、出鼻をくじかれ毎日学校にも行くことができず、友人にも会えず空虚な日々を送っていました。勉強時間は確保できましたが、毎日家で一人だけである勉強は、集中力を保つのが難しかったのを覚えています。

だからこそ今、毎日登校し授業を受けられるありがたさ

を感じています。残りの高校生活、勉強に部活動に参加し、感謝だけは忘れないようにしたいと思います。

両角 帆夏 (高校2年)

感染症が拡大する中で、社会全体としても、自分の中でも、生活の中でやらなければならないことと、不必要なことがあるということに気づきました。今までは他人から与えられたことや前例を倣っているだけでしたが、このような状況下でもやらなければならない様々なことをどうしたら行えるのかを自分でも考えるようになりました。

また、コロナ禍で、人と人との物理的な距離は遠くなくても、自分の家族や友達など、大切な人を思いやることで、今まで以上に心の距離が近くなったと感じ、苦しい状況の中でも他人と支え合い、いつでも前向きでいたいと思いました。

矢島 広大 (高校3年)

緊急事態が宣言され、自粛を余儀なくされた昨年の春から、冷静な判断力を失ってしまっていたのではないかと。

地域内での感染者が確認されると探偵へと変身する住民たち、医療従事者への誹謗中傷、インターネットが普及した社会の欠点が見えた。経済を優先する政府や、外部の目を気にする教育機関など、誰もが苦心惨憺していた。

私は平穏な日常の価値を実感した。未来は明るいと期待したい。そのためには皆が強くあろう。

小口尚輝 (京都大学工学部1回生)

私の大学生活は、4月初めに引っ越しのため京都に向かう道中で、1か月の休講とその後のオンライン授業の方針を知るという波乱のスタートでした。世間の大学生に対する目が異常に厳しいせいか、その後も大学の方針は緊急事態宣言の頃からほぼ変わらず、私の場合、結局対面授業の回数は片手にも満たないまま1年が終わってしまいました。教授たちによると今年は例年より成績が良いそうですが、私としてはパソコンに向かっての授業はどうもやる気が出ず、つまらないというのが本音です。オンデマンドではなくLiveのZoom授業だったので、ありがたさを感じるのは天気が悪い日や寝坊した日、そして対面でのテストが無いことくらいです。12月ごろになってようやくサークル活動の規制が緩和され徐々にいろんなサークルを回ることもできるようになり、ようやく友達もできるようになりました。例年のような大掛かりな新歓はありませんが、新しい出会いも多くあり、人と会えることのありがたさを実感しました。

やっと同学年の知り合いができたかと思ったらもう後輩を迎えなければいけない時期でとても大変ですが、何とか工夫して楽しい大学生活を送りたいと思います。

寄稿

新型コロナウイルスの影響、新しい生活様式と今後の展望

木澤 義之
(88回生)

神戸大学医学部特命教授



医療に与えた新型コロナウイルスへの影響は大変大きかったです。身近な友人が複数感染し、先輩の医師は命を失いました。2021年3月末時点で、緊急事態宣言は解除されましたが、私が住む神戸では感染者が再増加しており、その殆どが感染力の強い変異種であることから、再度対策を強化する必要があると思います。唯一の希望はワクチン接種なのですが、すでに南アフリカ変異種にはアストラゼネカ社のワクチンがあまり有効でないことがわかってきており、今後はインフルエンザウイルスのように毎年コロナ

ウイルスの(変異種に対応した)ワクチンを注射することが日常になるかもしれません。また、今行っているマスクの着用とソーシャルディスタンスは、しばらくの間「デフォルト」になるのではないかと思います。

これを契機に大きく変革したいなあと、思うことが医療の世界にはいくつかあります。例を挙げてみると、1) できるだけすべての診療をオンライン化すること、2) 無駄な外来再診を止めて効率化すること(脈と血圧は自宅の自動血圧計でいいし、本気で必要ならスマートウォッチ

でモニタリングしたらいい。安定している慢性疾患なら再診は3-6ヶ月に1回でいいはず、その代わり予防に全力あげたほうがいい)、3) いつでも健康相談はチャットでできるようにすれば便利、写真とチャットでほとんど大丈夫じゃないかな、それで無理ならオンライン診療、最終手段が外来受診。くらいでしょうか? あんまり書きすぎるとえらい医師会の先生たちに後ろから刺さるそうですので止めておきますが、世の中を効率化して住みやすくする千載一遇の好機なので、実践に移していきたいと思っています!

寄稿

新型コロナウイルスに感染した透析患者の診療

小口 智雅
(88回生)

相澤病院 腎臓病・透析センター センター長



私の部署には70台の透析ベッドがあります。毎日2クール、大勢の患者とスタッフが出入りして、同じ空間で透析医療をしています。透析室は密なので、新型コロナウイルスの集団感染が起こることを心配し、さまざまな対策を行い、出入りするひとには不便なこともお願いしています。でも、ウイルスの侵入を完璧に防ぐことは難しいです。感染者が発生したときは、早くみつめて感染拡大しないように対処することも重要です。感染者は透析室に入れません。しかしご存知と思いますが、透析は行う必要があります。そこで感染した透析患者は隔離病棟に入院してもらい、病室に医療器械を搬入して透析を行うのですが、週3回、1回あたり4時間の治療を、防護具を全身に着けたスタッフが一对一で監視して実施することになります。これは人手的にも心理的にもスタッフの負担が重く、数名の透析患者にはできても、多く感染者が発生するような事態になれば対応は厳しいです。医療従事者として使命を全う

する覚悟はしていますが、最悪の事態を想像すると怖いです。

松本市を中心とした松本医療圏では12月までの新規感染者は散発する程度でしたが、年末年始のいわゆる第3波にのまれて増加し、ついに病院内でも入院患者や職員に感染者が発生しました。このなかに透析患者の感染者も数名いて、私たちが診療することとなりました。感染者が現れたときのシミュレーションはしていたので慌てはしませんでした。いよいよ来たかという緊張を感じました。なかには急に重症化して人工呼吸器が必要となった方がいました。透析と人工呼吸器の治療で患者はつらかったと思いますが、幸い救命することができました。一方で、治療も及ばず助けられなかった方がいて、この感染症の恐ろしさも目の当たりにしました。

当院の理事長(相澤孝夫)は、日本病院会会長を務めています。第3波の間、日本病院会会長の立場から報道番組にテレビ出演し、数の少ない大病院ばか

りに感染者の入院が集中してしまう実情と、この対策として松本医療圏の取り組みを説明していました。中小病院は全国に数多くあれども、病床の少ない中小病院では病棟1つをコロナ専用にするには、すなわち通常診療ができないこととなるため、感染者の受け入れができないのです。しかし松本医療圏では市立病院、国立病院、大学病院、民間病院が一同に会した協議で調整が進み、各病院の役割分担をはっきりさせ、感染者用の病床を増やすことができました。地元ではこれは当然の対応だと思っていましたが、これを「松本モデル」と称してテレビで紹介するくらいですから、まねな成功例なのではないでしょうか。飲食店や観光業界はコロナ禍で苦しい経営状況に陥っています。コロナ専用病床がもっと増えて、医療が逼迫しなければ経済を回すことができます。もっと多くの感染者が入院できる体制を、医療業界の団結と政治の指導でなんとか作れないものかと思っています。

寄稿 地元の医療現場から

松本 宙明

(88回生)

医療法人松本医院 院長



新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）は厄介だ。無症状の感染者が次々と広めてしまう。室内環境にも長期生存する。指定感染症で、重症も軽症も入院し病床逼迫を生じる上に特効薬がなく、致死率が高い。海外の医療従事者死亡例の報告もあった。プライマリケアを担う我々は、①疑わしい患者を診たら検査へ誘導する、②患者からの感染拡大を最小限に留める、③自分や医院のスタッフが感染しない（休診になる）に集中した。それは④癌や高血圧症、糖尿病など、かかりつけ患者の慢性疾患が悪化しないよう、外来診療を滞らせないことが主たる役割としてあるから。それにはどう対応すべきか考えた。保健所に「帰国者・接触者相談センター」が設置され、①咳や発熱（37.5度以上が4日間）があり、②発熱前14日以内に隣国へ渡航歴があるか帰国者との濃厚接触をした方。という指標が設けられた。ミーティングで院内体制を話し合い、医療の方法を変えた。発熱や咳、頭痛や下痢の患者でコロナを疑

診する時はまず、非接触のため電話等での問診を行う。①何時から、②発熱の有無、③自覚症状の詳細、④身近にコロナ患者や濃厚接触者の存在、⑤2週間以内の長野県外への往來の有無などを聞き、診察は時間指定や裏口からの誘導、駐車場や車内診察とした（トリアージ）。フェイスシールド、サージカル（N95）マスク、ガウン、手袋の装着は欠かせない。都度着替え、手指消毒。医院毎方法に違いはあるが、医療の質を担保し、かつ感染拡大をさせない仕組みがとられているので、安心して受診して下さい。

診察でコロナを疑うと、保健所に連絡。指定病院に紹介しPCR検査を行ってもらった。（当時は開業医でのPCR検査は不可能でした）危険と隣り合わせの中、マスクとシールドを隔て、覚悟して患者と対峙していた。時間経過と共に開業医でのPCR検査も可能になった（検査・診療医療機関）。結果は厚労省にオンラインで報告（GMIS）。流行初期は物資も不足。滅菌してマスク再利用など

も試みたが、最近では十分に供給され、安心である。有り難いことだ。医療ゴミの処分代が増えた。これは今後も変わらないか、流行状況に応じて、負担が増える可能性がある。

感染を恐れ、受診抑制がかかり、外来患者数が減った。TVショーの専門家曰く「市民の外出の減少や、マスク、手指消毒などの清潔概念の向上により、インフルを含めた感染症の減少が要因」との事。一方、慢性疾患では投薬日数の延長（例：1ヶ月毎の受診⇒2ヶ月毎）など理由は様々。経営的側面からは、各医院共かなり厳しくなった。それは同時に提供する医療の質の低下につながるよう工夫をすべき状況にあることを意味する。コロナに隠れて生活習慣病の悪化が進行し、数年後に進行癌、心筋梗塞、脳卒中などが増加しないように患者さんとコンタクトを取り、限られた受診機会を有効に生かし、早期発見、早期治療の医療提供を行うことが大切だ。

寄稿 コロナの時代にいのちを育む

小川 幸司

(88回生)

長野県蘇南高等学校長



1 コロナと闘う覚悟をもって四月を迎える

2019年12月に中国の武漢で最初の肺炎患者が発生してから3か月後には日本のすべての小中高校が臨時休校に追い込まれるという未曾有の事態になりました。2020年4月、私は南木曾町にある蘇南高校に赴任しましたが、始業式・入学式を行ったものの、すぐに臨時休校となり、1か月以上に及ぶ「オンライン教育」の日々となりました。

実は、蘇南高校の玄関に立ったときから、私は「コロナと闘う」覚悟をしていました。先生方との最初の職員会が4月2日に行われ、その翌日の3日には「もし再度の臨時休校になってしまったら、生徒をどう守るか」というテーマで職員研修会を行いました。このときに先生方みんなで確認したことは次のことです。①どんなにコロナの状況がたいへんであっても「100を0（ゼロ）にしない」。②蘇南の学びを授業・生徒会・部活動・つながりなど「パッケージとして守る」。…この方針をもって6日の始業式で生徒たちを迎えたのでした。

2 「できない」と言わないようにした日々

臨時休校になった当初、生徒の皆さんに紙のプリントを郵送して宿題をやってもらい、分散登校のときの授業で答え合わせをする方式を考えていました。しかし、すぐに分散登校もできなくなり、「オンライン教育」をなるべく早く構築するよう方針を切り換えました。そのときに私たちが心がけたのは、「できません」と言わないことでした。不可能だと放り投げたらそこですべてがストップしてしまいます。できないように思えるのならば、それをどうやったらできるようにするかを考えよう。どんなに苦しくてもあきらめないようにしましょう。そう先生方と語り合いました。

ほどなく「Zoom」を使ったホームルームや授業が始まり、そこに「YouTube」を使ったオンデマンド動画が加わりました。先生方は、生徒を孤立させないように、毎週、電話を一件一件かけていったり、「気軽な電話相談日」「あたたかな図

書館」などの窓口を開設したりしました。

3 支え合いの発見

休校に入る前の日の全校放送で、私から「今しかできないことに取り組んでみよう」という「プリコラージュ賞」創設のことを呼びかけました。「プリコラージュ」というのはフランスの文化人類学者レヴィー＝ストロースが『野生の思考』で提示した概念で、「未開社会」の人々が持ち合わせの知識・経験で目の前の課題に対処していく方法です。私は、未知の状況に直面している今だからこそ、①スペインかぜなどの過去の感染症の事例をなるべく多く収集し参照することと②県教委の指示を待つのではなく、教員・生徒が主体的に今を生きる「プリコラージュ」が大切だと考えました。

臨時休校のまっただなか、バドミントン部の生徒たちから各自の部屋で遠くに置いたマグカップにシャトルを打ち込む動画が先生方に届けられました。インターハイ予選が中止になるなか、絶望せずに前を向いて努力を続け、笑いを忘れないようにしている生徒の姿に、私も含めて先生方は胸が熱くなる経験をしました。そして登校再開の初日に、ひとりの3年生が全校に呼びかけてまとめた「先生ありがとうアルバム」が校長室に届けられました。全校生徒が学校再開後に取り組みたい抱負と先生へのメッセージがまとめられた、美しいアルバムでした。

このとき私たちは改めて気づいたので。学校というのは、教員が生徒を支えているだけではなく、生徒たちが教

員を支えているのだということに。学校は誰もが「支え合う」場なのです。臨時休校という苦しい日々の中で、大切な「希望」をつかんだ瞬間でした。

4 かけがえのない日常の発見

さあ、これから文化祭というときに、7月初旬の約1週間、集中豪雨のためにまたもや休校の日々でした。しかし、私たち教員は「プリコラージュ」をしてオンライン授業を行ったし、生徒会もまたオンラインを使ってできる準備を進めました。結果的にステージ発表と展示発表の双方を実現した文化祭を見事に開催することができました。2日目の大降りの雨が、閉祭式のときだけ奇跡的に晴れあがり、美しいスターマインが木曾谷にこだましたのでした。あの光景は、私にとっての一生の思い出です。

令和2年度卒業式では、前生徒会長の伊藤さんが、「自分が高校で学んだ一番のことは、『日常』というものの大切さだ。コロナで自分たちの生活は大きく変化したけれど、それがゆえに『学校に行く』ということのかけがえのなさを私たちは思い知った。日常の一瞬一瞬をいとおしいと思った。あの感覚を自分は一生忘れないでいたい」と答辞で語りかけました。

蘇南高校から、私たちの誇る卒業生たちが世界に乗り出していきます。コロナの時代に「いのち」を育むことの素晴らしさを実感しながら、私にとっての「日常」を生きていこうと思っています。「自らかえりみてなおくんばコロナといえども我ゆかん」です。



代表取締役 永田 滋弘 (88回生)

取締役会長 永田 弘幸 (59回生)

あかげまで 14th
株式会社メガネのナガタ
〒392-0012
長野県諏訪市大字四賀2323



冷暖房空調・給排水衛生設備

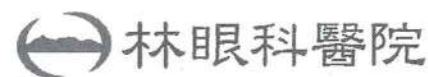
株式会社 太陽住設

代表取締役

浅野 勝 (88回生)

〒399-0211 長野県諏訪郡富士見町富士見 4654-636

TEL.0266-62-2093(代) FAX.0266-62-5192



院長 林 秀行

(88回生)

〒394-0083 長野県岡谷市長地柴宮1-2-40
TEL.0266(28)6596 FAX.0266(28)8022

内科・小児科・胃腸科
在宅医療・訪問診療・往診

医療法人 松本医院

院長 松本 宙明 (88回生)

〒392-0007 長野県諏訪市清水2-4-12 TEL.0266-52-3247

ご宿泊
日帰り宴会
会議
パーティー承ります

HOTEL BENIYA

TEL:0266-57-1111 〒392-8577 長野県諏訪市湖岸通り2-7-21

詳しくは、

寄稿 体育とスポーツ、そしてオリンピック

村山 光義

(88回生)

慶應義塾大学体育研究室 教授



体育の教員を目指し清陵の門を叩いてから約40年の歳月が過ぎました。体育大学を出て、大学の体育教員となり、教育と研究を生業としてからも約30年となります。ここに現れたコロナ禍は、私に体育・スポーツの意味を再考させる契機となりました。由無し言と思われるかもしれませんが、今想う事を綴ります。

大学教育の現場は、対面を避けてオンライン（遠隔）授業を推進する動きが強まりました。首都圏を中心とした各キャンパスの機能停止は徐々に緩和されると思いますが、依然、感染の再拡大が懸念され、対面活動の場が制限されています。折しも文部科学省の「教育の情報化」推進によりICT（情報通信技術）活用が課題とされていたことや、遠隔授業でも一定の教育効果を生み出せると考える（認識した）教員や分野が存在すること等も関係し、遠隔授業の推進は学生の学び方を大きく変容させていくでしょう。一方で、対面活動が不可欠な分野や内容もあります。大学生の学びの多様性を担保する上で、リアルな活動や大学のキャンパスライフが大幅に縮小していることを危惧する声も多いです。私が担当する体育も身体で実践することが基本となります。コロナ禍で、自宅の部屋にいる学生と遠隔で共にエクササイズをしたり、トレーニング方法やスポーツの歴史・ルール・戦術を解説するという緊急措置が試行錯誤されました。巷にはe-Sportsやバーチャルリアリティを駆使したスポーツも登場していますが、遠隔授業の対人的交流は不完全であり、何よりスポーツを展開する空間は確保できません。体育の未来を深く考える日々が続いています。

ところで、体育とスポーツには違いがあります。体育とは、身体活動やスポーツ競技を教材とし、学ぶ一教えるという関係によって成立する教育活動です。永年、大学に「体育」は不要であるという批判・議論があります。「学術性に乏しい」「スポーツをして遊んでいるだけ」等と言われ、必修科目から外れてきました。しかし、近年は「健康・体力づくり」「初年次教育」「コミュニケーション能力・社会的スキル等の獲得」等の役割を担うものとしてその必要性が再度注目さ

れてもいます。一方、スポーツは自発的に行われるもので、社会に現象・文化として存在するものです。スポーツ(sport)の語源は「気晴らし」「遊び」を意味する「デポルターレ：deportare」であり、イギリス貴族のキツネ狩りに代表される遊びが代表例でした。20世紀にスポーツは「競技種目」の総称と変わります。ここに大きく関わるのが近代オリンピック（五輪）の発展です（この経緯は紙面に限りがあり省略）。今や多くの人が、スポーツといえば五輪やワールドカップ、競技種目をイメージするはずですが、しかし、本来スポーツは自発的に遊び、気晴らしをする生活文化を指していたのです。2011年にスポーツ基本法が成立し、「スポーツを通じて豊かな生活を営む権利」が保証され、文部科学省の振興基本計画においてスポーツは「する・みる・支える」ものとされています。スポーツは自分でなくても「みる」ことができ、「選手」や「スポーツ競技」を人的・経済的に支援して「支える」こともできるということです。この計画では、子供のスポーツ参加やライフステージに応じたスポーツ振興策が第一に掲げられています。しかし、国際競技力の向上や国際大会の招致により経済的な効果を含めスポーツ界に好循環をもたらす、スポーツ立国を目指すことも掲げられています。2020東京五輪の開催もこうした政策の一環です。つまり、スポーツは経済活性のツールとも言え、これが五輪を推進する理由でもあり、反対する理由ともなっています。

この拙稿をまとめる過程で、延期となっていた五輪の聖火リレーがいよいよ始まりました。感染拡大は予断を許さず、開催には多くの困難が待っていますが、そもそも五輪を開催する意義は何なのでしょう？五輪は大会実施だけが目的ではなく、五輪精神の啓蒙＝五輪ムーブメントを推進し、その実現を目指すものです。五輪精神とは「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」です。これは選手だけでなく人類に対して求められるものです。自己を高めるため精一杯努力し、他者を尊重して友好なコミュニティ形成に取り組む姿勢の意義を理解し、それを選手のみならず人類が実践することこそが五輪精神の達成に重要なのです。東京は2020から次のパリ2024までの間、五輪ムーブメントの推進役を任されていると考えるべきで、その役割を我々も共有すべきです。仮に開催が中止となってもムーブメントを推進する方法はあるはずですが、メダルがいくつ取れるかに興味を持って大会を「みて・支えて」いるだけではなく、自らスポーツを「する」ことが五輪の真の成功につながると私は思います。そのためにも、スポーツを教材とできる体育において、学生とともにスポーツの意味と価値をアカデミックに探究し、実践し続ける必要があります。今、その使命を痛感しています。



太田屋
松本・岡谷・諏訪・長野・佐久・伊那
諏訪市中洲5723-3 Tel0266-54-3555

代表取締役社長 太田 博久 (86回生)



寄稿 協働と共感の国

花岡 安佐枝

(88回生)

eavam, SAL Laboratories 共同代表、コンテンツラーダンサー



昨年、3月中旬に日本出張からチェンマイへもどり、その二日後に全国一斉のロックダウンと同時に海外からの入国も一切の禁止になるという経験をしました。

私たちの会社は、幸いロックダウン制限を受けない業種であり、立地も郊外で水田や果樹園の中に村や民家が点在する程度の場所、少人数で、スタッフ自身も化粧品製造業という職業柄、建物に入る前の衣類の清拭や手洗い・アルコール消毒、マスク着用などがあらかじめ習慣化され、衛生意識も高かったため、行動様式を殆ど変えることなく操業を続けられました。

製品も、石鹸やスキンケア用品で、小さなブランドということもあり、売り上げもおかげさまで影響はごくわずかなものにとどまっています。そのような中、大きな違いがあったのは、子供の同伴が増えたことでした。

タイでは共働きが普通で、女性が子供を連れて出勤し、子供を自分のそばで遊ばせながら仕事をするのはたとえば官公庁などでも見かける光景で、子供を喜びこそすれ、誰も文句をいう人はありませ



ん。私たちも育児スペースを設け、そこで交代で子供たちの世話をし、むしろ普段よりも楽しく仕事ができ、子供達も母親が働く姿を見る良き機会となりました。

このように、あまり仕事には影響がありませんでしたので、ロックダウン中、最もタイらしさを感じた出来事をご紹介します。 ロックダウンによってタイでも日雇い労働者だった人など失業者は少なく、地方都市のチェンマイでは普段はほとんど見かけないホームレスの人も見かけるようになりました。

するとすぐに始まったのは、市内各所に炊き出しやフードバンク、路上で眠る人への蚊帳の配布などでした。個人の有志が始め、そこに多くの人たちが食料品などを寄付することで規模も拠点の数も急速に広がり、さらに企業、寺院や役所が追随し、最終的には地方行政による仕事や家を失った人たちのシェルターの開設にもつながりました。

更に、感染者数が減少に転じた頃からは、ロックダウンよりも早く安全のために山ごもりしていた山岳民族が、町へ降りてきて、現金収入として栽培したもの、ロックダウンで売り先を失った高原野菜を無料で配布するようになりました。

これらの助け合いの拠点が、あまりに場所も集まる人も増えて大変な盛り上がりとなってしまい、クラスター発生の懸念から、配布時間や規模の制限など、ソーシャル・ディスタンスのさらなる徹底（無論していたのですが）の行政指導がかかる事態となる程でした。

助けて欲しいと声を上げること。またそれぞれが救うことが当然と考え、できることを行動にうつすこと。このような本来、人が生きるにおいてごく普通であることが、今なお普通に行えることがタイのCOVID-19を抑え込めた理由のもっとも大きな部分ではないかと、この国で18年を過ごし、感じました。

仕事を失っても自己責任が問われ助けを求められない空気、感染も言い出せないような不寛容や、分断や軋轢によってCOVID-19対策が停滞している日本に対し歯痒さを感じずにはおれません。個を尊重し、他者を受容し助け合うこと、生きることを最も大切にしてフットワーク軽く新しい生活の道を開拓し続けるタイの人びとに、今、私たち日本人は学ぶべきところ多いように感じます。

花岡安佐枝

2003年より、チェンマイにて地元女性とオーガニックスキンケア用品や工芸品の開発、製造を開始。現在はeavam (eavam.co.jp) というブランド名で日本でも紹介。

eavamについては、朝日新聞ウェブメディア「&W」にて、共同経営者のインタビューが紹介されています。（花岡コメントあり）https://www.asahi.com/and_w/20200219/1217633/

また、2020年12月、花岡の活動が、タイの公共放送PBSのドキュメンタリー番組「ドゥーハイラー」にて紹介されました。youtubeで閲覧できます。

<https://www.youtube.com/watch?v=Iz13jT7L7sg>

好評！エリア拡大中！！3つのサービスまとめてお得！



ひかりdeテレビ
BS4K放送にも対応
お家のどのテレビでもSTBアンテナなしでBS放送が視聴できる！



ひかりdeネット
最大1Gbps
※ベストエフォート
高速でインターネットが楽しめるWi-Fi機能付き！



ひかりdeトーク
通話料がおトク!!
携帯電話とおトク割

お申込み
お問合せ

エルシーバイ株式会社



0120-123-833

《受付時間》
9:00~18:00

<https://www.lcv.jp/> 《本社》〒392-8609 長野県諏訪市四賀821 TEL 0266-53-3833

寄稿 「With コロナ、After コロナ」 －食料・農業・農村の観点から－

長井 俊彦
(88 回生)

農林水産省農林水産技術会議事務局研究総務官



私は平成2年に農林水産省に入省して以来、出向中の前職時（国土交通省都市局審議官の時に諏訪市の案件に少し関わりました）を除き、諏訪地域に直接関わることは少なかったのですが、今回、「With コロナ、After コロナ」に関して同窓会報に書かせていただく機会を頂戴しましたので、食料・農業・農村の観点から私の見解を述べさせていただきます。

昨年の春頃はマスクなどの物資不足の騒動があり、生活必需品の安定供給の必要性が改めて認識されたと思います。食料については一時的にスーパーから米やパスタがなくなることはあったものの、大きな混乱にはなりませんでした。世界的に見れば穀物の物流は停滞し輸出規制を行う国もあり、改めて国民に食料を安定的に供給していくこと、いわゆる「食料安全保障」について真剣に考えていく必要があると思います。しかしながら、食料安全保障の基礎となる国内の生産基盤は高齢化、耕作放棄地の拡大などにより脆弱化しており、さらに今回の新型コロナでは、水際規制により外国人の技能実習生が入国できなくなって深刻な人手不足に陥ったことは、農業現場における外国人の技能実習生頼りの構造を明白にしました。

こうしたことは、例えば特別定額給付金等の申請手続きや感染者の把握に当たり、国、地方のデジタル化が著しく遅れていたこと、過当競争の中で脆弱な収益構造にあった外食産業が営業自粛により廃業や業態変更を迫られる事態に陥ったことなど、現在起きている事象の多くは、これまで潜在的に問題であったことが今回の新型コロナを契機に明確になったものであると言われており、課題を解決すべきタイミングが早くなったと捉えるべきであると思います。

前述の農業の生産基盤に関しては、人手がないことを前提にした生産体系への移行を考えるしかなく、「スマート農業」と呼ばれている、無人で耕うんや収穫を行ったり、ドローンにより農薬・肥料を散布するといった自動化技術や、人工衛星の画像情報により最適な収穫時期を判断し作業を効率化する技術などを利用することが、少人数で大面積の農業生産を実現するほぼ唯一の手法であり、現在、これを加速度的に普及するための取組を

進めているところであります。

一方で、最近言われているのがいわゆる田園回帰ともいえる動き、すなわち、テレワークの進展は地方にいても仕事が可能との認識を高め、新型コロナで「密」が避けられた結果、地方での「密」のないゆとりある生活が志向されてきたというものであります。限界集落の増加が喧伝されてきた農村が見直される契機となるのであれば新型コロナの良い影響といえるのかもしれませんが、新型コロナが収まった段階でもこれが継続していくためには、やはり安定的な仕事が必要であります。例えば、半分農業をし、半分はほかの仕事をする「半農半X」といわれる仕事の仕方など多様な働き方を提示していくことが重要であり、今後そのための取組を検討していきたいと思ひます。

また、欧米では今回の新型コロナを契機に社会構造を変えていこうとする動きが出てきており、経済対策も家計への直接支援に加え、CO2の削減など環境に配慮した産業構造に転換するための投資に支援する動きが顕著となっております。我が国も同様に、前述のデジタル化と並んで脱炭素社会に向けた動き（グリーン化）を加速させようとしています。農林水産分野でもイノベーション（技術革新）により生産力の向上と持続性を両立させるための戦略（みどりの食料システム戦略）を現在検討しているところであります。例えば、農薬や化学肥料をできるだけ使わないことは環境に良い影響を与え

ますが、ただ減らすだけでは収量は落ちてしまいます。これをイノベーションの一つである前述のスマート農業を活用し、例えば、作物の生育状況や天候などの情報を利用しながらドローンで作物に農薬や化学肥料をピンポイントで与えることで使用量を削減しながら収量を確保していく、といったことを今後進めていきたいと考えております。さらに、環境問題に関しては、これまでの消費行動を変えていくことが供給構造を変えていくことにつながると考えております。農林水産分野でも例えば地産地消により物流にかかるエネルギーの消費を抑えることや過剰包装や食品ロスの削減に取り組むことも環境問題の解決につながると思ひます。新型コロナを契機に、これまでできなかったこうした価値の転換にも取り組んでいきたいと思ひます。

私は今回の新型コロナでもっとも痛切に感じたのは、我々（私）はどうしても「部分最適」に陥りがちであり、中長期的に全体を俯瞰しながら考えていく「全体最適」を常に頭に入れて行動していくことが大切だということであり、同窓の皆様はそれぞれの分野で様々な苦勞をされていると思いますが、今回の新型コロナを契機に一度立ち止まり、改めて全体を俯瞰した上で、何をもっともやるべきなのかを考え、行動することでこれまでと違った世界が拓けていくことを、自戒を込めつつ願っております。



<http://www.nagano-np.co.jp>

長野支社・伊那支社・東京支社
諏訪湖総局・茅野総局
富士見支局
駒ヶ根支局・辰野支局

地域と
歩み続けます

長野日報社

本社／〒392-8611
諏訪市高島3丁目1323-1
TEL0266-52-2000

特集 自反而縮雖 COVID-19 吾往矣

ご紹介した寄稿以外にも世界各国や、様々な業界で活躍している 88 回生から多くのレポートが寄せられました。全文を諏訪清陵高校同窓会の WEB サイトでご紹介しておりますのでぜひアクセスしてご覧ください。

URL <https://www.suwaseiryu.jp/88kaisei>
パスワード dousoukaihou47



世界の国々から

- ・木川貴幸：ピアニスト（アメリカ：NY）
「コロナ禍の NY にて音楽家として」
- ・中村（岡）真由美：フリーライター
（アメリカ：シカゴ）
「イリノイ州 シカゴより」
- ・今井健彦：商社（チリ）
「南米チリの現状」
- ・代田（北澤）真紀子（パリ）
「フランス パリ便り」
- ・藤森毅史：製造業（中国深圳）
「新型コロナの影響、新しい生活様式と今後の展望」
- ・青木 誠（インドネシア）
「インドネシア 新型コロナの影響」
- ・青木徹夫（インドネシア）
「With コロナ、After コロナ in インドネシア」

学術的見地から

- ・野澤 聡：大学教授
「科学史から見たパンデミックの中の希望」

国内のビジネス現場から

- ・松澤 靖：株式会社資生堂
「化粧品市場のいま」
- ・太田洋一：精密機器
「諏訪の製造業の現場から」
- ・倉科和則：製造業営業
「コロナ禍、東京での仕事と考えたこと」
- ・清水孝弘：ホテル紅や
「信州の観光」
- ・佐藤（浜）美智子：
株式会社 BEPPIN マルシェ代表
「私に力をくれた2つの言葉」
- ・河西文子：フリーランス
（イベント司会、ラジオ番組制作、大学講師）
「新型コロナがもたらした変化」
- ・小口（小平）悦子：
ピアノ・ソルフェージュ教室主宰
「小さな音楽教室、コロナ禍奮闘記」

地域社会から

- ・矢嶋浩行：茅野市 地域づくり
「地方自治の現場から」
- ・代田（北澤）真紀子：子育て支援
「子育て支援の現場から」

新型コロナウイルス感染症により、世界中で、医療現場が、教育現場が、経済界が、大きなダメージを受けましたが、我らが清陵生達はピンチをチャンスに変える力を持ち、今日も奮闘しています。

山をも抜かむ意気をもて 海をも呑まむ慨をもて
鉄槌三度かざしては 吾等が手ぶりに靡けとや
雄叫べ友よ茜さす

母校連携交流事業

「母校連携交流活動報告」

数年前、当番幹事をした翌年、矢崎和広同窓会長（68回生）から電話。「矢崎だ。君に会長指名の常任幹事をやってもらう。母校・生徒を応援することを企画し、実行してくれ。諾否を応える間もなく、電話は切れた。以降の母校連携活動を簡単に振り返ってみたい。

2016年、附属中学の東京研修旅行で同窓生のいる職場見学が最初であった。旅行会社に依頼したがうまくいかないらしい。石城正志校長（78回生）が10月の東京支部総会に出席され、藤森宏一東京清陵会長（63回生）と相談、翌月10数か所の職場見学を実現できた。

翌2017年は、7月の高校1年の学習合宿への講師を派遣。「再来月ですが講師、何とかありませんか？できれば、女性で」（加藤教頭）。前年に本部総会でパネリストをしてくれた小松文美（91回生、JT医薬情報部次長）に白羽の矢を立てた。薬害エイズなどの社会問題、利益追求だけでなく社会貢献が大事。女性が活躍すべく、業務効率化も話題に。附属中学は「地域連携講座」を医療→地域→グローバルのテーマ順に毎年開催、17年度はグローバル。講師8人、県内から、中村博同窓会長（72回生）をはじめ、八十二銀行、セイコーエプソン、地域テレビ局の役員の計4人。「東京からも講師をお願いできないか？地元は大先輩なので、ぜひ若手・中堅、女性があがりたい」。東京の女子会に依頼して、その年の当番幹事84回生から105回生の女性4人が揃った。「働くことには多様な側面（稼ぎ・やりたいこと・務め）があり、一つの仕事で実現できなくてもいいんじゃないか」（荒川あゆみ、105回生）。「失えばまた取り戻せばよいとの言葉に感動」（生徒）。「自分の人生においてリーダーは自分という言葉が印象的」（名取克裕先生）。東京研修旅行での職場見学は、2年目、10数社が協力。「本物に触れる機会が目的、現場見学も入れてほしい」（加藤教頭）。ブリヂストンの技術センターでは、原英男・広報・ブランド戦略担当フェロー（73回生）自らがアテンド、日本テレビでは矢島学アナ（93回生）が生でニュースを読むスタジオも見学、東京高裁では宮坂昌利（83回生）の計らいで、生徒は法服を着て法壇に上って法廷気分も。高校キャリア講演会には、法学・金融・経済・経営・社会・医学・理学・工学と生徒の要望に合わせた9人の講師を派遣。「半沢直樹の話はリアルにあるのですか？との質問」（原豊、94回生、三菱UFJ銀行）、「私のしくじりと成功」（村田和広、87回生、SIJテクノロジー代表）、「講師をやり込めようとする生徒がいても面白い」（小平秀一、85回生、海洋研究開発機構）。

2018年度、中学の職場見学は3年目。「自分の将来像や学習展望を意識化する目的」とハードルも上がる。JFEエンジニアリングでは、製作現場とバイオガス発電プラントの見学に加えて、若手社員から生徒へのアドバイスも（今井敏雄、82回生）。「自反精神は大勢の中で自分の言いたいことをきちんと伝えられる精神と学んだ」（生徒）。キャリア教育への講師派遣も2年目。「清陵生であることに誇

りをもって、世間の雑音に負けず、自分のやり方で、自分と大事な人々のために、自分の人生を生きてもらいたい」（三沢陽一、102回生、小説家）。「同窓生の豊かな経験から語られる、生きた言葉の数々に、多くの生徒が引き込まれ、大いに刺激を受けた」（城取恭子先生）。

2019年、中学の職場見学は4年目。「事前聴取した質問事項等を踏まえ、職務遂行の姿勢を伝えつつ、職業選択の一助になるように」（大澤洋一、84回生、東京都総合防災部）など受け入れ側も工夫。「生徒達は仕事に対する責任感や熱意を感じ、将来目指す姿や今の自分に必要なことについて考えるきっかけになっている」（新田香先生）。3年目を迎えたキャリア講演会への講師派遣。「自分で工夫しながら学ぶことが大人になってから一番、役に立つ」（北沢聖、87回生、日鉄ソリューションズ）。生徒も「自分を科学する」、「知識は興味へのとっかかり」などの言葉をくみ取っている。「医者同士のヨコの繋がりに加えて、清陵生というタテの繋がりもあるというのは強み。一人でも多くの後輩ドクターができることを心から願っている」（高木希奈、99回生、精神科医）とのエール。「職業を選ぶにはやりがいがある」（生徒）。「ネット上の情報に振り回される中で、同窓生の豊かな経験から語られる生きた言葉は、生徒達の心をつかみ、自分を見つめなおす良い機会になった」（原光秀先生）。7月の高校学習合宿には、岩本敏男NTTデータ前社長（74回生）が登壇。たまたまゴールデンウィークに上諏訪駅の待合室でお声をかけたことが縁で、ご無理を申し上げた。また、小口雄策先生（88回生）が教頭に赴任された機会に、同窓会活動を現役清陵生に理解してもらえよう、翌年当番幹事87回生の協力により、清陵祭に初めて同窓会の部屋を設け、活躍する同窓生、清陵今昔などを掲示した。本部総会では、当番幹事86回生の協力で現役清陵生の作品や活動展示をし、同窓生に見てもらった機会となった。

20年度、コロナ禍でリアルな会合・行事は行えなかったが、オンライン開催が進んでおり、全国、全世界の同窓生がつながる機会となる。職場見学・講義・交流もオンラインで可能で、新たな支援・交流へのアイデアも期待したい。「同窓会の目的の一つは母校を支援すること」（第一校歌作詞者、伊藤長七）と清陵勉強会で学んだ。第一校歌の歌詞には、世界に想いを馳せる有為な人材の輩出を願う建学の精神が流れている。（北原譲、常任幹事・東京清陵会事務局長、82回生）
[文中敬称略、所属は当時]

SWATEC

美しい未来環境を創る



スワテック建設株式会社

〒392-0017 長野県諏訪市城南二丁目2353番地
Tel. 0266-52-4343 Fax. 0266-52-4347

女性部活動のご紹介

長引くコロナ禍に於いて女性部活動も自粛を余儀なくされ、昨年の会報でご紹介した全実施予定イベントを延期に致しました。特に、日帰り研修旅行「日本モンキーセンター・京大霊長類研究所と犬山城」は、会報発行時には既に開催延期決定し、2021年度の開催予定と致しましたが、まだまだ開催は難しそうです。再度延期し、コロナ収束を待って、東海支部様全面協力のもと、男女問わず様々な支部から様々な方々にご参加頂き、これぞ同窓会ならではのイベントにできればと、期待しています。昨秋延期の「上社周辺街あるき」は、今秋に、上社周辺まちづくり協議会小島実会長（72回生）のご案内で実施予定です。コロナ禍では同窓会活動そのものの意義についても考えさせられましたが、現況下でもできることはやってみるの精神で、第一回オンライン交流会を実施しました。地域を限定せずに参加可能なので、今後も時空を超えて、各地の方々との交流の面白さを楽しめるものと思います。引き続きより一層の協力・ご参加を頂けますようお願い致します。

女性部部长 小尾順子（78回生）

～実施イベント報告～

第1回女性部オンライン交流会

開催時期：2020年12月5日(土) 14:00-16:00

参加者：10名

内容：自己紹介、近況報告 等

女性部総会（オンライン開催）

開催時期：2021年4月18日(日) 14:00-16:00

参加者：各支部女性役員、女性学年幹事、

女性部希望者

内容：2021年度活動計画、
今後の女性部の進め方 等

～今後実施予定のイベント～

第8回イベント「御柱祭に向けて～上社周辺街あるき」 男女問わず同窓生および同伴の家族・知人の参加可

開催時期：2021年9月26日(日)予定

内容：小島 実さん（72回生）のご案内により上社周辺を散策

～支部女性部便り～

下諏訪支部女性部 井上喜久美さん（80回生）

女性部の活動を通じて異業種の方と交流できたのはとても刺激的でした。下諏訪支部では今年は納涼会を計画予定です。案内が必要な方は井上までご連絡ください。個人的なことですが、私は現在「みんなでつくる下諏訪町デジタルアルバム」（ネットで検索してみてください。）のボランティアをしています。下記の写真が清陵のボート部の写真かわかる方がいたらしゃつたらご連絡ください。（電話 0266-27-2781）



東海支部 敦賀不二佳さん（89回生）

東海支部は昭和51年に発足し、愛知、三重、岐阜、静岡の浜松市までの同窓生で構成され、現在約160名のうち90名が登録しています。昨年度は東海支部会報創刊号を発行しました。毎年8月に総会が開催され、25名前後のメンバーが参加し、順番に講演の講師を務め、和やかな雰囲気で行われています。この総会の女性第1号となり、2019年に女性部長に任命頂きました。現在女性3名です。昨年度、延期となってしまった犬山研修再開の際には、是非皆様とお会いできるのを楽しみにお待ちしております。

岡谷支部 今村祐子さん（84回生）

私が同窓会女性部の活動に参加させていただいたきっかけは、下諏訪の街歩きでした。集まった同窓生の皆さんと一緒に、今まで知らなかった地元のことを興味深い解説をお聞きしながら歩いた時間は、とても新鮮で楽しいものでした。これからも女性部の活動を通して、懐かしい出合いや、新しい出合い、知らなかった世界への出合いがあることを楽しみにしています。

茅野支部 伊藤ゆかりさん、宮下真美さん（86回生）

女性部企画のイベントでは、初代女性の話の聞いたり、同窓生のカフェでおしゃべりしたり楽しかったです。"こんな時だから"、オンラインイベントを松本支部女性幹事と合同で企画中。お気に入りのお店やスポットを紹介しあって気軽に地元愛をおしゃべりしましょう！詳細はグループLINEと女性部メールでお知らせします！☆茅野支部ではグループLINE「清陵茅野支部

乙女会」作ってます！

松本支部 北原薫さん（86回生）

松本・茅野支部女性部合同でオンラインイベントを行います！楽しくおしゃべりしながら地域の情報交換をしましょう！気軽に参加ください。参加して下さる方は女性部までご連絡ください。詳細は追ってお知らせします。☆松本支部では女性部に登録して下さる方を募集しています。松本地区在住の女性の方、是非女性部までご連絡ください。

東京清陵会 浜美智子さん（88回生）

東京清陵会女子部では、2016年ごろから年に1、2回、イベント（食事会、観劇、勉強会など）を開催してきました。2020年度はリアルでの活動はできませんでしたが、1度だけ年末にオンラインでの女子会を開催しました。それぞれの近況などを話すだけでなく、諏訪の地元グルメの懐かしい味について語り合ったり、チャットでの情報共有をしたり、リアルとはまた違ったスタイルが確立できました。今年度もまだリアルでの会は難しいと思われますが、オンラインでのミーティングは計画中です。

現在「東京清陵女子会」という名称でFacebookにグループがあり、70数名の同窓生が登録して下さっていて、それぞれのメンバーの告知なども投稿いただいています。東京清陵会の活動のお知らせも掲示しておりますので、参加ご希望の方はメールにてご連絡ください。tokyoseiryokaijoshi@gmail.com（事務局 浜美智子）

諏訪支部 小口理子（84回生）

諏訪支部では2019年に女性部が設置され、支部役員会・総会で本部女性部の活動内容報告やイベントの案内・参加者募集を行っています。現在、支部女性役員1名、女性部には22名の女性会員の方が登録されています。今後も女性部イベントへは地元から多くの方に参加いただき、活動を盛り上げていきたいと願っています。

～連絡先～

各学年の女性幹事の方および女性部への登録は以下までメールにてご連絡ください。

Seiryoseibu@yahoo.co.jp

諏訪清陵同窓会女性部事務局 小口理子

公益財団法人 諏訪圏学校理科教育振興基金について

理事長 小口 武男 (77 回生)

事業等の報告

当基金（略称「理振」）は諏訪清陵高等学校の理科教育に関する研究を奨励援助し、その振興に寄与することを目的として発足。その後その対象を諏訪地域等の中学校へと広げ、平成23年4月1日「公益財団法人」として認可をうけました。

現在は、諏訪清陵高等学校の理科系クラブへの研究助成、資材助成を行うとともに、諏訪地域の中高一貫校及び中学校（17校）に対し理科教育等の振興のための助成金の支給を実施しています。また、助成事業の成果は、毎年「理科研究収録」としてまとめ、その足跡を残しております。

昨年度（令和2年度）は助成事業として、高等学校に対し2,000,000円、中学校に対し600,000円の助成事業を実施いたしました。

尚、平成26年度より中学校に対する助成を順番制から応募制に変更し、より積極的な当基金の利用を中学校に働きかけております。

財政基盤強化のお願い

当基金はこれまで幾多の先達から賜った貴重な寄付金を「基本財産」とし、その運用益で運営してまいりました。

昨今の経済状況では、高金利、高利回りは期待できず、「基本財産」の運用益だけでは十分な事業運営が難しくなっております。「基本財産」の運用益により公益事業を継続していくためには、運用財源の「基本財産」を増強することで対応するしか方法はありません。つきましては、同窓生の方々に、「諏訪地方等の理科教育」振興のためご協力をお願いする次第です。公益財団法人の許可を受けたことにより税法上、個人の場合は所得控除、法人の場合は損金算入等の特典があり、寄附をしていただき易くなっております。

詳細につきましては、以下の連絡先までお問い合わせ願います。

【連絡先】

事務局 長野県諏訪清陵高等学校内

TEL 0266-52-0201（教頭：吉沢規至）

FAX 0266-57-2426

令和3年度同窓会報「学校だより」

令和2年度は、本校ばかりでなく全国のすべての教育機関が新型コロナウイルス感染予防対応を迫られた1年でした。

今回の「学校だより」は例年とは構成を変え、本校のコロナ対応を記録に残す意味も含め、清陵のこの1年間の様子をお知らせします。

安倍首相（当時）の臨時休校要請を受け、本校も令和元年度末、令和2年3月3日から休校に入りました。休校の中、卒業生と教職員のみでの出席で、校歌斉唱のない異例の第72回卒業証書授与式が挙行され、清陵附属中1期生を含む清陵高校123回生235名（男子130名、女子105名）が学び舎を後にしました。

1ヶ月に及ぶ休校が明けた4月6日午前、諏訪圏域の感染状況が落ち着いていたことから、大体育館で始業式を行いました。残念ながら恒例の校歌斉唱はなく、物寂しい年度のスタートとなりました。午前の始業式に続いて、午後には令和2年度の入学式（中高合同）が挙行され、高校生240名（男子135名、女子105名）及び附属中学校生80名（男女各40名）が入学しました。入学式も感染対策として出席者を限定し、入学生、各家庭1名のみの保護者、教職員によるものとしました。

始業式、入学式が無事に終わり、安心したのも束の間、4月8日には、県教育委員会より4月10日から24日まで臨時休業にするとの発表がありました。臨時休業はその後、5月22日まで延長されることとなります。休業開始まで時間のない中で、9日の午前中はとりあえず、休業中の学習指導に係る最低限の連絡を慌ただしく行い、昼には放課としました。

臨時休業中ではありましたが、14日には学年、クラスごとに分散登校させ、課題配布やオンライン学習の連絡をしました。本校では、昨年度末の臨時休校以前に、全生徒及び全教員のGoogleアカウントを取得することができていたため、学習支援システムGoogle Classroomを活用した課題の配布・回収やオンライン会議システムGoogle Meetを活用したオンライン授業等、臨時休業の比較的早い段階からオンラインによるHRや学習をスタートさせることができました。また、オンラインでの教育活動を行う中で、生徒から様々な声が寄せられ、オンラインの長所や

短所が見えてきました。

5月下旬、県教育委員会より学校再開に向けた分散登校が許可されました。まずは、名簿番号によってクラスを4つのグループに分け、5月18日、19日の午前午後をつかい、グループごとの分散登校を行い、課題等を回収したり、課題について生徒の質問に答えたりしました。分散登校ではありましたが、久しぶりの登校、友人との再会で多くの生徒の表情がとても明るかったことが印象に残っています。次の段階として、学年を2つのグループに分け22日、25日～29日の午前午後をつかい、各学年のべ2日間の分散登校を行い、学校再開後のシミュレーションも兼ねて授業を行いました。実際に授業を行うことで消毒、換気等、再開後の感染予防対策の具体が見えてきました。

6月1日、臨時休業が明け、ようやく授業が再開しました。とはいえ、通常日課に戻ったわけではなく、通学時の混雑緩和を考慮した時差登校、朝の健康観察時間を十分確保するための短縮授業等を含む特別日課が続き、部活動については、停止の状態でした。

6月8日、やっと通常日課に戻り、部活動も平日30分間に時間を限定して実施可能になりました。その後、15日からは部活動が平日60分間に、22日からは平日の部活動が90分間に、週末の活動もできるようになりました。

当初、7月3日から6日まで予定されていた学友会最大の行事である清陵祭もコロナ禍に巻き込まれました。コロナ感染予防のため、また休校明けで準備もままならないことから、中止もしくは別日程開催の方向での検討が進められていましたが、学友会役員を中心とする全校生徒の熱意と学友会からの徹底した感染予防対策案により、7月3日に第70回清陵祭が「隣鶯（りんおう）」のテーマのもと華やかに開催されました。非公開、規模縮小での1日限りの清陵祭ではありましたが、生徒たちは様々なところで最高のパフォーマンスを見せてくれました。例年当たり前のようにある、合唱コンクールもファイヤーストームもアーチもポスターもありませんでした。記録にも記憶にも残る本当に素晴らしい清陵祭でした。

ほぼ2ヶ月に及ぶ休校により、年間計画の大幅変更を余儀



www.faircongrp.com

税理士法人フェアコンサルティング

私達は国際税務に特化したプロフェッショナル集団です。

- 外国子会社合算税制
- 移転価格税制(文書化、事前確認(APA)、相互協議、移転価格調査対応)
- グローバル組織再編 ■ その他、国際税務全般に関わるコンサルティング

代表社員・税理士 細田 明 (86 回生)

世界15か国27都市に有するフェアコンサルティンググループ直営拠点と共に、国際税務の課題に対応します。
*2021年2月、海外における移転価格をはじめとする国際税務のワンストップ窓口として、シンガポールに国際税務専門家を配置しました。

日本 東京、大阪、名古屋、福岡 中国 上海、蘇州、深圳、北京、広州 台湾 台北 香港 香港 シンガポール シンガポール タイ バンコク フィリピン マニラ ベトナム ハノイ、ホーチミン インドネシア ジャカルタ マレーシア クアラルンプール インド グルガオン、チェンナイ、バンガロール メキシコ レオン オーストラリア メルボルン ドイツ ミュンヘン、デュッセルドルフ 米国 ニューヨーク、ロサンゼルス

知らない諏訪を、楽しもう

有限会社



林 商店

代表取締役 林 聡一 (86 回生)

〒394-0028

長野県岡谷市本町2-2-1

提案します
美味しい生活！
美味しい！

ビッグ1
岡谷店・茅野横内店

代表取締役 武田 真一 (84 回生)
専務取締役 武田 哲夫 (90 回生)

(株) タケダストアー 本部 / 諏訪市清水1-3-21
TEL. 0266-52-4088

割烹 仙岳

代表取締役社長
小口慶一郎
(84回生)



ご家族やお仲間の集いの場
としてご利用下さい

全室、個室です。
和室に椅子の部屋もご用意できます。

仕出しもご相談下さい。
ふぐ刺し・焼きかに等のお持ち帰りも
ご用意しております。
お祝いなど、特別な日
のお食事にいかがでしょう。

(←写真のふぐ刺しは持ち帰り用3人前)

＜諏訪本店＞
諏訪市湖岸通り5-17-3
(湖明館通り)
TEL: 0266-58-3515



＜松本店＞
松本市深志2-2-15
TEL: 0263-35-7849

なくされ、授業時間を確保し生徒の学習を保障するために、以下のとおり長期休業の日数を削減し、感染予防のために行事を中止しました。

【長期休業】

＜夏季休業＞

7月24日～8月23日を8月8日～23日に

＜年末年始休業＞

12月26日～1月6日を12月26日～1月5日に

【中止した行事】

＜端艇大会＞ 8月31日予定

＜クラスマッチ＞ 9月25日予定

＜キャリア講演会＞ 10月10日予定

＜湖周マラソン＞ 10月20日予定

そのかいあって、10月末には学習進度も通常のペースにほぼ追いつき、少しではありますが、初めての共通テストに挑戦する3年生の不安を取り除くことができました。

コロナ第2波が落ち着き、安心していたところですが、年末に第3波が押し寄せたことから、諏訪圏域の県感染警戒レベルが4に引き上げられました。警戒レベルの引き上げに伴い、感染予防のため、1月13日からレベルが3に引き下げられる27日まで、部活動を停止しました。

コロナ禍は、本校のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業にも大きく影を落としました。本校は、平成29年度から第4期（5年間）の指定を受けており、令和2年度はその4年目となりますが、以下のとおりSSHに係るイベントとして当初計画していたものが、コロナ感染予防のため次々と中止になってしまいました。

【中止したイベント等】

＜京大 iCeMS 講演会＞ 5月14日予定

＜諏訪圏工業メッセ研修＞ 10月15日予定

＜先端技術企業研修＞ 11月5日予定

＜海外研修＞ 3月中旬予定

また、10月17日実施の課題研究中間発表会、2月6日実施の課題研究発表会については、非公開とし、特に課題研究発表会はオンラインでの開催としました。

令和3年度は、第4期指定の最終年度となります。「探究」の次のステージに向けて、コロナとともに実施でき得るイベント、コロナに負けない探究活動を推進していきたいと考えております。

新型コロナウイルスとともに厳しい受験を闘い抜いた124回生を送り出す、第73回卒業証書授与式を令和3年3月4日に挙行し、233名（男子112名、女子121名）が学び舎を後にしました。昨年度より感染予防対策が明確になってきたことから、今年度は卒業生と教職員に加え、各家庭1名の保護者の方、PTA会長にもご臨席いただき、挙行することができました。しかしながら、今回も校歌斉唱は行えず、校歌を歌わない卒業式が2年も続いてしまいました。

なお、清陵附属中2期生を含む清陵高校124回生の合格状況は別表にお示ししたとおりです。

部活動においては、コロナ感染予防のため、生徒が目標としていた様々な大会が中止、変更されました。そのような状況下にあって顕著な成績を修めたものをお知らせします。

高等学校運動系クラブ

■長野県高等学校新人体育大会等の主な成績

＜陸上＞＝県新人大会

男子110mH：鈴木千紘＝5位

男子800m：吉岡伶＝5位

男子走幅跳：宮坂仁士＝1位

男子4×400mリレー＝7位

女子100m：藤森七海＝5位

女子200m：藤森七海＝5位

女子400m：中村空夏＝2位

女子400mH：中村空夏＝2位

女子4×100mリレー＝2位

女子4×400mリレー＝5位

＜端艇部＞＝県大会

男子クオドルブル＝1位

男子シングルスカル：小松＝2位

男子ダブルスカル＝3位

女子クオドルブル＝2位

女子シングルスカル：斎藤＝1位

青木＝2位

女子ダブルスカル＝1位

＜男子バレーボール＞＝春高予選県大会出場

＜テニス・男子＞＝県新人大会団体・個人・ダブルス出場
団体＝5位

＜テニス・女子＞＝県新人大会個人・ダブルス出場

＜サッカー＞＝選手権県大会出場

＜ハンドボール＞＝県新人大会出場

■ブロック大会・全国大会等の成績

＜陸上＞＝北信越新人大会

男子走幅跳：宮坂仁士＝5位

女子400m：中村空夏＝4位

女子4×100mリレー＝5位

＜端艇部＞＝中部選抜大会

男子クオドルブル＝3位

男子シングルスカル：小松＝6位

女子クオドルブル＝5位

女子シングルスカル：斎藤＝4位

青木＝5位

女子ダブルスカル＝4位

＜端艇部＞＝全国選抜大会出場

男子クオドルブル

高等学校文化系クラブ

＜かるた＞

○県髙校新人かるた大会＝団体9位

＜書道＞

○令和3年度和歌山全国高校総合文化祭出場決定：福島彩綺

＜古典ギター＞

○県髙校ギター・マンドリンフェスティバル＝優秀賞

令和3年度全国大会出場決定

＜化学部＞

○自然科学フェスティバル＝化学分野最優秀賞

令和3年度和歌山全国高校総合文化祭出場決定

＜生物部＞

○自然科学フェスティバル＝生物分野優秀賞

北信越大会出場

＜天文気象部＞

○自然科学フェスティバル＝地学分野最優秀賞

令和3年度和歌山全国高校総合文化祭出場決定

＜クイズ研究部＞

○AQL 信州リーグジュニアの部＝2位

全国大会出場

令和2年度末 教職員人事異動

転・退職職員				新任職員	
氏 名	転出先等	教科等	氏 名	前任校等	
三枝 是	退職（文化学園長野中学・高等学校長）	校長	小口 雄策	諏訪清陵高校（教頭）	
小口 雄策	諏訪清陵高校（校長）	教頭	吉沢 規至	上田東高校（教頭）	
竹内 佳一	退職	国語	後藤愛也香	丸子修学館高校	
平澤 芳郎	松本県ヶ丘高校		澤柳まり子	松本県ヶ丘高校	
南山 清高	池田工業高校（定時制教頭）	地歴公民	西澤 崇浩	松本県ヶ丘高校	
笠原 勇貴	田川高校	数学	馬場 裕介	千曲市立屋代中学校	
高橋 聡	伊那弥生ヶ丘高校		関 大輔	岡谷工業高校	
山田 洋一	退職（諏訪清陵高校非常勤講師）		田澤 俊助	箕輪進修高校	
今井 なぎ	岡谷工業高校・岡谷東高校（非常勤講師）		山田 洋一	諏訪清陵高校（再任用教諭）	
原 光秀	伊那弥生ヶ丘高校	理科	阿部 秀幸	諏訪実業高校	
江崎奈緒美	木曽青峰高校		百瀬 幸代	松本県ヶ丘高校	
赤沼 京子	諏訪二葉高校	芸術	音楽	高橋 健美	下諏訪向陽高校
小木曾毅士	退職		書道	伊藤 佳子	諏訪実業高校
兒玉真理子	岡谷南高校（非常勤講師）		音楽		
瀬戸 雅子	伊那北高校	英語	吉越 慎二	岡谷工業高校・下諏訪向陽高校	
両角 穂	国立教育政策研究所 教育課程研究センター長期研修	中学	数学	赤羽 翔	木島平村立木島平中学校
矢野口まどか	安曇野市立穂高東中学校		英語	池田 美幸	上松町立上松中学校
柳澤みどり	岡谷市立岡谷北部中学校		養護教諭	柳澤 由紀	岡谷市立岡谷田中小学校
中島 信夫	大阪事務所（次長）	事務長		宮城 清幸	木曽青峰高校（事務長）
栗屋 修	退職	中学	事務	小口 幸子	諏訪実業高校

Athlete

事業内容

半導体製造装置・工場自動化設備の設計・製造・販売

アスリートFA株式会社

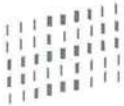
代表取締役会長 山崎 晃（64回生）

本社所在地：〒392-0012 諏訪市四賀2970-1

TEL:0266-53-3369 FAX:0266-53-3538

<http://www.athlete-fa.co.jp>

関連会社：愛立発自動化設備(上海)有限公司



渋江精密工業株式会社
SHIBUESEIMITSU CO.,LTD

取締役会長 渋江 利明（71回生）

代表取締役社長 渋江 祐貴（104回生）

〒392-0015 長野県諏訪市大字中洲4600番地
TEL 0266-53-1200 FAX 0266-58-3509
<https://shibue-seimitsu.co.jp>

令和2年度(2020年度)入試結果(令和3年4月現在)

卒業生数: 233 進学者数: 192 就職者数: 0 進学率: 82.4%

国立大学			
大学名	現役	既卒	合計
北海道	2		2
岩手	1		1
東北	1		1
秋田	2		2
茨城	1		1
筑波	5		5
宇都宮		2	2
群馬	2		2
埼玉	3	2	5
千葉	4		4
お茶の水女子	1		1
電気通信	1		1
東京		1	1
東京外国語	1		1
東京学芸	1		1
東京芸術		1	
東京工業	3		3
東京農工	1		1
横浜国立	2	2	4
上越教育	1		1
新潟	1		1
富山	5	1	6
金沢	3		3
山梨	6	1	7
信州	20	7	27
岐阜	2		2
静岡	2	1	3
名古屋	6	1	7
三重		1	1
滋賀		1	1
京都	1	1	2
岡山		1	1
広島	2		2
愛媛	1		1
高知		1	1
国立大学合計	81	24	104

公立大学			
大学名	現役	既卒	合計
秋田県立		1	1
群馬県立女子大	1		1
高崎経済	2		2
前橋工科	1	2	3
東京都立(首都大学東京)	3	1	4
神奈川県立保健福祉	1		1
横浜市立	1		1
富山県立		1	1
長岡造形	3		3
都留文科	4		4
長野県立	1		1
長野県看護	2		2
長野	2		2
諏訪東京理科	2		2
福知山公立	1		1
公立大学合計	24	5	29
大学校			
大学名	現役	既卒	合計
国立看護大学校	1		1
計	1		1
私立大学			
大学名	現役	既卒	合計
北海道科学		1	1
獨協医科	1		1
埼玉医科	1	1	2
女子栄養	1		1
獨協	2	5	7
日本薬科	1		1
文教	3	1	4
神田外語	1		1
城西国際	1		1
千葉工業	6	1	7
和洋女子	1		1
青山学院	3		3
学習院		1	1
北里	3	3	6
共立女子	1		1

杏林	2		2
国立音楽	1		1
慶應義塾	1	1	2
工学院	4	1	5
國學院	1	1	2
国際基督教		1	1
国土館	3		3
駒澤	3	2	5
駒澤女子	1		1
実践女子	1		1
芝浦工業	4	6	10
順天堂	9	1	10
昭和	3		3
昭和薬科	1		1
女子美術	1		1
白百合女子		1	1
成蹊	4	2	6
成城		2	2
聖路加国際	2		2
専修	3	7	10
創価		1	1
大東文化	2	2	4
拓殖	1		1
多摩美術	1	3	4
中央	9	5	14
津田塾		1	
帝京	1		1
東海	3	2	5
東京医療学院	1		1
東京家政	1		1
東京経済	3		3
東京工科	3	1	4
東京女子	1	1	2
東京造形	1		1
東京農業	7	3	10
東京薬科	4	1	5
東京理科	6	2	8
東邦	1		1
東洋	12	5	17
日本	10	3	13
日本歯科	1		1

日本女子	2		2
日本文化	1		1
法政	8	1	9
東京都市		1	1
武蔵	3		3
武蔵野	7		7
武蔵野美術	4	2	6
明治	13	3	16
明治学院	2	1	3
明治薬科	1		1
明星	3	1	4
目白	1		1
立教	2	1	3
早稲田	5	6	11
神奈川工科		1	1
神奈川	1	3	4
関東学院	2	1	3
昭和音楽	1		1
洗足学園音楽	1		1
フェリス学院	1		1
横浜薬科	1		1
新潟薬科		2	2
新潟医療福祉	1		1
新潟食料農業		1	1
金沢工業	2		2
健康科学	1		1
山梨学院	2	1	3
佐久	3		3

長野保健医療	1		1
松本	1	2	3
松本看護	1		1
岐阜協立		1	1
岐阜聖徳学園	1		1
愛知	1		1
愛知学院	5		5
愛知東邦	1		1
大同	3		3
中京	15	2	17
中部	1	1	2
名古屋外国語	1		1
名古屋学院	1		1
南山	2		2
日本赤十字豊田	1		1
藤田医科	3		3
名城	4		4
皇学館	1		1
大谷	1		1
京都芸術	1		1
京都産業	1		1
京都先端科学	1		1
京都外国語		1	1
京都産業		2	2
京都女子		1	1
京都精華	1		1
京都橘	1		1
同志社	2		2

立命館	11	7	18
龍谷	4		4
大阪医科薬科	1		1
大阪芸術	2		2
大阪経済法科	1		1
大阪産業		1	1
関西外国語	1		1
近畿		2	2
関西学院	1		1
摂南	1		1
神戸薬科	1		1
奈良	1		1
私立大学合計	208	95	302
短期大学			
大学名	現役	既卒	合計
国学院大栃木		1	
帝京大学		1	
佐久大学信州		1	
松本大学松商		1	
短期大学合計		4	
専門各種学校(現役のみ)			
学校名	令和3年度入試		
諏訪赤十字看護		1	
愛知県総合看護		1	
レコールバンタン東京		1	
日本工学院八王子		1	
HAL名古屋		1	
早稲田美容専門学校		1	
コンピュータ系		1	
農業系		1	
理容・美容系		1	
芸術・体育系		1	
海外の学校		1	
海外の学校		1	
専門各種学校合計		12	

昭和シェル石油特約店

株式会社 細川商店

諏訪市諏訪二丁目10番4号 ☎ 本店 (0120) 210-613

代表取締役社長 細川 洋一 (84回)

常務取締役 細川 浩二 (86回)



このハートクリニック

Kono Heart Clinic

〒392-0015 諏訪市中洲 5680-1 Tel. 0266-78-5810

院長 河野 浩貴 (85回生)

消化器科・内科

清水クリニック

院長 清水俊樹 (86回生)

諏訪市湖岸通り 5-13-18

TEL 0266-53-1625

FAX 0266-53-1635

最先端技術にはロマンがある

理想を追求した **イズカットトランス™**

ノイズ障害防止の切り札で、近未来に先駆けるトランス型ノイズ防止素子です。



NCT-Z 型

株式会社 電研精機研究所

高度情報化社会のアキレス腱＝不要電磁波・ノイズ障害の防止に尽くす

創業(工博) 矢ヶ崎昭彦(47回)

本社: 〒203-0042 東京都東久留米市八幡町1-4-21 TEL 042-473-3745(代) FAX 042-474-0613

大阪営業所: 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-7-5 TEL 06-6538-1118(代) FAX 06-6538-2777

ノイズトラブル相談室 ノイズトラブルに関するご相談・調査・技術援助等を行います。 URL <http://www.denkenseiki.co.jp/>

2020年度 諏訪清陵高等学校同窓会 定期総会開催報告

2020年度当番幹事 87回生 味澤敏行

本来ここは定期総会開催報告のページですが、昨年はコロナ禍の影響で未開催のため、代わりに私達87回生当番幹事が引き継いでから延期決定がされるまでの経緯を報告します。

<経過>

- ・2020年正月三日が日明け、定期総会会場候補のホテルを訪問し、担当の方との顔合わせを兼ね会場レイアウトについて打合せと会場見学を実施。
- ・2月22日(土)、同窓会常任幹事会・幹事会で当番幹事から定期総会の企画を提案説明し、会場は「ホテル紅や」に決定。総会議事からイベントへのスムーズな移行と在校生作品見学の便宜を図って、開始時間を従来の13:30から13:00に前倒しをすることを提案し、承認される。イベント案は、同窓会を起点にその枠を超えて膨らませるコミュニティやネットワークづくりをテーマにしたパネルディスカッションで、前年度のように参加者のランダムなグループを作ってテーブル毎のディスカッション、大座談会を計画。内容は、昨年同窓会報第46号8頁「同窓生コミュニティ開設に向けた提言」と題した87回生北沢聖君の寄稿を参照ください。
- ・3月初、「ホテル紅や」打合せ。この時に6月キャンセルの可能性を示唆し、年度内延期の場合の会場側の代替日程候補および感染拡大防止に配慮した会場、集会スタイルについて相談した。
- ・3月中旬、当番幹事が挨拶に何う予定の関西支部、下諏訪支部総会の中止が決定。6月定期総会の開催可否も不透明なため、会報の中で定期総会と連動したページは代替記事を検討。中高一貫化の特集記事に、卒業する一期生インタビューを急遽追加。突然の依頼にも関わらず5名が快く対応してくれた。
- ・4月初～、予定していた同窓会長、事務局と当番幹事の打合せも電話、e-mailに変更。4月25日、会長から総会延期の方針が示達される。同日、会報原稿を一部差し替え、「ホテル紅や」の予約をキャンセル。
- ・5月30日(土)常任幹事・幹事会は参集せず、書面決議とする。

- >第1号議案 2019年度会務報告、決算報告及び監査報告承認の件→賛成78、反対0、条件付賛成2
- >第2号議案 2020年度事業計画(案)ならびに一般会計予算(案)承認の件→賛成79、反対1
- >第3号議案 2020年度 役員改選の件(副会長に土橋勝氏、原大氏、河西洋氏が就任、太田龍朗氏、藤森宏一氏、山崎晃氏が退任、監事に樋口尚宏氏が就任、鮎沢茂登氏が退任)→賛成79、反対1
- >第4号議案 2020年度 定期総会、会報(46号)発行の件(総会は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み延期、会報は通常通り87回生が担当)→賛成80、反対0
- >第5号議案 その他(母校連携交流事業について、クラブ活動・自反会後援会について、女性部について)→賛成80、反対0

・6月19日(金)付長野日報、定期総会延期の新聞広告を掲載。

今後は人が集まらずとも組織が機能する方法を考え、実行していくことが必要なのでは、人類は生活も精神面も集団生活が前提になっていると思うので、それと矛盾する方法は緊急避難的なものとし、これを乗り越えた先には形が変われども人同士が間近に向き合うスタイルに戻ることを願っております。

最後になりましたが、校長先生、教頭先生、事務局長を始め清陵高校の皆様、「ホテル紅や」様、会報46号に広告を掲載していただいた皆様および寄稿していただいた皆様、各支部当局の皆様、同窓会常任幹事・幹事の皆様、同窓会長、事務局長、形にはなりませんが計画段階から準備作業まで多くの皆様に多大なご協力をいただいたことに感謝し、御礼申し上げます。



株式会社 イングスシナノ

代表取締役社長 小林 秀年(79回生)

営業技術グループ 河西 昭夫(88回生)

〒393-0042

長野県諏訪郡下諏訪町北四王5415

TEL0266-27-8851 FAX0266-28-0112

URL http://www.ings-s.co.jp

おかげさまで
2023年
創業60周年を
迎えます



有限会社 三恵製作所

代表取締役 今井一喜(87回生)

岡谷市今井1553-4(岡谷インター横)

TEL.0266-22-5108 FAX.0266-23-1105

2020年度 諏訪清陵高等学校同窓会 会務報告

【注】今年度の本部及び各支部の幹事会・総会は、特別な記述が無い限り、コロナウイルス感染防止の為、書面・ネット・メール等での会議となり、延期又は中止となりました。

- | | |
|---|--|
| 4.6 諏訪清陵高等学校126回生入学式
新入生240名(女子105名)
新入生に「校歌」CDを贈る | 11.21 物故者慰霊法要(地藏寺)
中村博会長・岩波寿亮副会長・小尾順子副会長 |
| 4.24 会計監査
鮎沢茂登監事、後町泰昭監事
一般財団法人諏訪清陵会
諏訪清陵同窓会 | 11.21 87・88回生引継会(清陵会館)
中村博会長、矢澤博事務局長
86回生・87回生・88回生 |
| 5.4 本部同窓会HP打合せ
田中達也常任幹事 | 2021年
1.10 うしまさ坂打合せ(高校応接室)
学校・同窓会・清陵会・うしまさ坂保存会 |
| 5.20 同窓会報46号発送
会報担当87回生 | 2.15 支部活動助成金
12支部長に助成金の申請・振込を行う |
| 6.12 うしまさ坂土地協議
横山嘉一氏(63回生) | 2.20 臨時幹事会(清陵会館)
中村博会長・小尾順子副会長・88回生 |
| 7.3 第70回清陵祭
変則開催 | 3.4 諏訪清陵高等学校(124回生)卒業式
卒業生233名(女子121名)
卒業記念品贈呈:印鑑セット |
| 7.28(一財)諏訪清陵会終結協議
中村博会長・今井正喜顧問・横山嘉一保存会長・
立石邦廣司法書士・石田和枝事務員 | 3.23 清陵附属中学校(5期生)卒業式
卒業生80名(女子40名)
卒業記念品贈呈:卒業証書入 |

2021年度 諏訪清陵高等学校同窓会 事業計画書(案)

(2021年4月1日～2022年3月31日)

◇◇新型コロナウイルス感染状況により計画の変更もあります。◇◇

—— ホームページ等でご確認下さい ——

1、母校創立120周年記念事業

(1) 母校120年史誌作成

[母校教育助成事業]

- (1) 母校クラブ活動・自反会助成
クラブ活動・自反会同窓会後援会拡充
会費納入活動強化

母校クラブ後援会会計・自反会会計へ拠出

2、同窓会定例事業

[会員交流事業]

- (1) 2021年度定期総会開催 6月26日(土)
ホテル紅や
(2) 幹事会開催 5月・2月
(3) 清陵同窓会報発行 第47号 編集担当88回生
(4) 各支部活動促進
(5) 先輩・物故会員慰霊法要 11月13日(土)
地藏寺
(6) 女性部活動支援
(7) ホームページの充実

- (2) 母校連携交流事業
定期交流会開催
(3) 新入生・卒業生 記念品贈呈
入学:校歌CD
卒業:印鑑
中学生 卒業証書入れ

2020 年度同窓会一般会計決算書

2020年4月1日～2021年3月31日

収入総額 17,516,990 円
支出総額 9,174,313 円
次年度繰越額 8,342,677 円

Ⅰ 収入の部 (単位: 円)				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
前年度繰越金	5,025,804	5,025,804	0	2018 年度繰越
入会金	2,400,000	2,290,000	△ 110,000	新入生 231 名
終身会費	4,800,000	4,580,000	△ 220,000	新入生 231 名
クラブ活動・自反会 後援会	4,500,000	5,098,564	598,564	
受取利息	0	65	65	
物品販売	10,000	22,557	12,557	
雑収入	5,000	500,000	495,000	宮坂久臣様遺志金
収入合計	16,740,804	17,516,990	776,186	

Ⅱ 支出の部				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
自反会 (土曜講座) 助成	1,750,000	1,306,000	444,000	
クラブ活動助成	2,759,000	2,773,000	△ 14,000	高校 227 万・中学 50 万
学校運営補助	500,000	429,000	71,000	エアコン
その他助成	600,000	421,400	178,600	卒業記念品 20 万、学校 案内・清水ヶ丘 14 万
定期総会費	550,000	84,774	465,226	運営費、資料費、 広告代
支部活動奨励金	600,000	600,000	0	支部活動助成金 50,000×12 支部
女性部活動助成	300,000	0	300,000	女性部活動補助
母校連携交流事業	300,000	0	300,000	資料作成
その他事業	30,000	0	30,000	湖周マラソン助成
会報会計繰出金	1,800,000	1,800,000	0	同窓会報発行
会館維持会計繰出金	50,000	50,000	0	清陵会館補修・設 備更新
120 周年記念事業	0	0	0	120 年史
給料手当	600,000	600,000	0	事務局長給与
会議費	250,000	7,800	242,200	常任幹事会・幹事会
旅費	750,000	131,810	618,190	役員会旅費・事務 局長交通費
事務所費	900,000	970,529	△ 70,529	消耗品、通信、備品、慶 弔、業務委託、HP 維持
予備費	5,001,804	0	5,001,804	
支出合計	16,740,804	9,174,313	7,566,491	

2021 年度同窓会一般会計予算書 (案)

2021年4月1日～2022年3月31日

収入総額 20,057,677 円
支出総額 20,057,677 円
収支差引額 0 円

Ⅰ 収入の部 (単位: 円)				
科 目	予算額	前年度予算	増 減	備 考
前年度繰越金	8,342,677	5,025,804	3,316,873	
入会金	2,400,000	2,400,000	0	新入生 240 名×1 万円
終身会費	4,800,000	4,800,000	0	新入生 240 名×2 万円
クラブ活動・自反会 後援会	4,500,000	4,500,000	0	
寄付・遺志金	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
物品販売	10,000	10,000	0	
雑収入	5,000	5,000	0	
収入合計	20,057,677	16,740,804	3,316,873	

Ⅱ 支出の部				
科 目	予算額	前年度予算	増 減	備 考
自反会 (土曜講座) 助成	940,000	1,750,000	△ 810,000	補助金
クラブ活動助成 (高校)	1,526,000	2,259,000	△ 733,000	遠征費・物品補助
クラブ活動助成 (中学)	500,000	500,000	0	遠征費・物品補助
学校運営補助	500,000	500,000	0	海外語学研修 (中学) 含む
その他助成	600,000	600,000	0	卒業記念印鑑・学校 案内・清水ヶ丘便り
定期総会費	550,000	550,000	0	運営費、資料印刷 費、広告他
支部活動奨励金	600,000	600,000	0	支部総会ご祝儀
女性部活動助成	300,000	300,000	0	本部・支部助成
母校連携交流事業	300,000	300,000	0	講師派遣他
その他事業	30,000	30,000	0	湖周マラソン助成 (レ モン代・OB 参加慰労)
会報会計繰出金	1,800,000	1,800,000	0	同窓会報発行・発送
会館維持会計繰出金	50,000	50,000	0	清陵会館補修・設 備更新
120 周年記念事業	100,000	0	100,000	120 周年史
給料手当	600,000	600,000	0	事務局長給与
会議費	250,000	250,000	0	常任幹事会・幹事会他
旅費	750,000	750,000	0	役員会旅費・交通費
事務所費	1,000,000	900,000	100,000	消耗品、通信、備品、慶 弔、業務委託、HP 維持
定期預金繰入	5,000,000	0	5,000,000	
予備費	0	0	0	
次年度繰越金	4,661,677	5,001,804	△ 340,127	
支出合計	20,057,677	16,740,804	3,316,873	

120 周年史 (平成 8 年～令和 2 年史) についてのお詫びとお願い 120 年史編集委員長 石城正志 (78 回)

120 周年事業の一環として編集作業を進めておりました 120 年史ですが、昨年末には編集作業を終了し、ここでご披露申し上げるはずでしたが、残念ながら完成に至っておりません。コロナ禍により活動が制限されたということはありませんが、ここまで編集作業が遅れてしまったのは、ひとえに編集委員長である私の責任であります。そのことについて、まずはお詫び申し上げたいと思います。そのうえで、あらためて以下をお願いを申し上げます。

今回の周年史は、『清陵八十年史』、『写真でつづる清陵の百年』という 2 つの立派な刊行物があることから、『写真でつづる清陵の百年』以降、具体的には平成 8 年 (1996 年) 以降の歴史を記録することを目標に、中高一貫教育とスーパーサイエンスハイスクール (SSH) の歴史を柱に据えるという編集方針のもと作業を進めて参りました。すでに歴代校長、教頭、SSH 担当、中高一貫開設準備室の先生方等多くの方から御寄稿いただいております。しかしそれでも不十分と考え、この間に生徒や職員として在籍した同窓生の皆様に広く御寄稿いただくことにより、周年史の空白を埋めることが出来ればと考え、昨年の同窓会報において御寄稿の呼びかけをしたところでした。ところが呼びかけをした時期からコロナ禍が猖獗を極め、同窓会総会も中止せざるを得ない状況となりました。そのためか、寄稿がほとんどなく、編集委員会の目論見は脆くも頓挫してしまいました。

しかしながらやはり同窓生の皆様の御寄稿文なしには、この周年史は画竜点睛を欠いたものになってしまうと思い直し、ここであらためて、以下の要領で寄稿文を募ることといたしました。つきましては、ぜひ多くの同窓生の皆様に奮って御寄稿いただけたらと存じます。

なお現時点での周年史『諏訪清陵高等学校・諏訪清陵高等学校附属中学校平成 8 年～令和 2 年史』については同窓会の HP (<https://udreamcojp.wixsite.com/suwaseiryu-dosokai>) に掲載してありますので、ぜひお目通しいただければと存じます。

- 1 原稿依頼対象者

・平成 8 年 (1996 年) から現在まで生徒として在籍した同窓生 (100 回以降) については、ぜひ各年代でひとり以上の執筆をお願いしたいと思います。何人でもかまいませんが、どなたかが代表して執筆される場合には学年幹事の方を中心に御相談ください。

・この間に職員として在籍した同窓生の皆様も振るって御寄稿ください。
- 2 形式など

・形式、文字数の制限は一切ありません (HP 掲載が最終目標のため)。

・中高一貫や SSH 関連のことばかりでなく、ぜひ歴史として残しておくべきことがありましたら、そちらについても自由にお書きください。

・いただいた原稿については、基本的には、そのまま 120 年史に掲載させていただきますが、こちらの判断で改変させていただきます (その際はご相談させていただきます)。

・こちらで編集集中の通史にあたる部分に欠けている内容については、
- 3 お願い

・100 回 (平成 8 年度 3 年生) 以降の学年幹事の方、寄稿の意思のある方は、先ずは下記メールアドレスまでご連絡をいただければ幸いです。

・以降、メールでご相談させていただければありがたいです。
- 4 締め切り 2021 年 8 月末日
- 5 送付先

・メール suwaryoku@gmail.com

・郵送の場合はこちらへ〒 392-0002 諏訪市湯の脇 2-11-16 石城正志
- 6 問い合わせ先

・石城 正志 電話: 090-5419-8812 メール 上に同じ

2020 年度 諏訪清陵高等学校同窓会 基本財産及び特別会計 決算報告

2020 年度 諏訪清陵高校同窓会基本財産目録

(2021 年 3 月 31 日現在)

(内訳)	定期預金	諏訪信用金庫	20,016,710 円
	同	諏訪信用金庫	10,005,946 円
	同	諏訪信用金庫	3,002,510 円
	同	諏訪信用金庫	1,401,809 円
	同	八十二銀行	5,503,498 円
	同	八十二銀行	2,001,673 円
	同	八十二銀行	5,001,273 円
	※ 合 計 ※		46,933,419 円

2020 年度 遺志金 特別会計報告

(2021 年 3 月 31 日現在)

遺志金特別会計 (笠原文武様)	
前期残高	477,454 円
利 息	4 円
ブラッシング指導料	4,510 円
差引残高 (2021 年度へ繰越)	472,948 円

2020 年度 同窓会報 特別会計決算報告

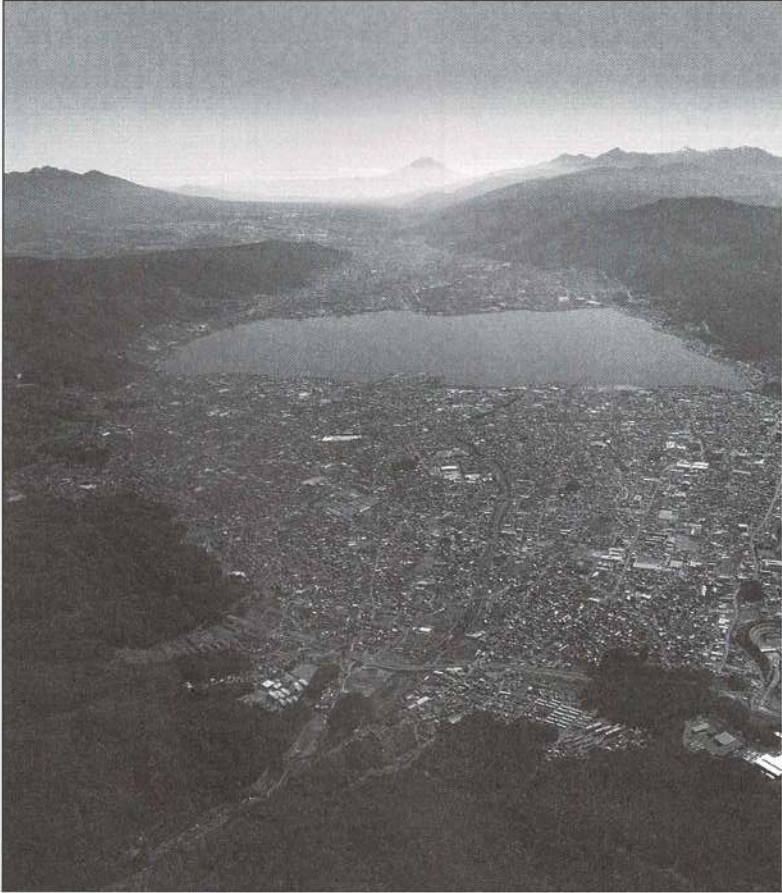
(2021 年 3 月 31 日現在)

繰越金	1,386,285 円
繰入金	1,800,000 円 (一般会計より)
利 息	13 円
広告収入	879,900 円
支出額	2,568,667 円 (印刷費・発送費)
差引残高	1,497,531 円 (2021 年度へ繰越)

2020 年度 会館維持 特別会計決算報告

(2021 年 3 月 31 日現在)

繰越金	1,319,244 円
繰入金	50,000 円 (一般会計より)
利 息	12 円
支出額	0 円
差引残高	1,369,256 円 (2021 年度へ繰越)



 諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

地区支部だより

	関西支部	東海支部	東京支部	松本支部	上伊那支部	北信支部
支部役員	支部長：土橋勝（64回） 副支部長：今井文人（52回）、 小林慎郎（56回）、山田正幸（59回）、岡田敏史（63回）、小池千代枝（64回） 女性部会 会長（兼任） 監事：篠原明彦（69回）、北原幸一（70回） 相談役：小坂祥造（63回） 顧問：吉澤啓介（57回） 事務局長・会計：花岡正（69回） 事務局：神戸正幸（66回） 幹事：小松文吉（56回）、松木本興（61回）、竹中由幸（63回）、鈴木勝（64回）、神戸正幸（66回）、藤森廣幸（70回）、植松高志（72回）、名取和一（75回）、花岡正浩（76回）、関聖（83回）、間部陽一（83回）、西出あすか（94回）、藤森賢也（94回） 任期 2022年総会当日まで	支部長：今井安榮（67回） 副支部長：佐々木忠男（64回）、塚平均（69回） 会計監査：細田正昭（65回） 事務局長：矢澤弘司（81回） 事務局次長：濱隆二（73回）、今井啓雄（89回） 事務局次長・女性部長（兼任） 顧問：太田龍朗（61回）	支部長・会長：原大（73回） 副支部長・副会長：守矢早苗（67回）、功刀正行（69回）、両角寛文（78回）、米澤あ子（80回） 会計幹事：小海健治（84回） 監査幹事：有賀朝彦（63回） 青木基浩（82回） 事務局次長：北原謙（82回） 事務局次長：有賀一温（75回）、矢崎理恵（81回）、岡本徹（83回）、森政宏（84回生）、赤羽俊昭（84回）、清水信次（84回）、佐藤美智子（88回）、荒木健太郎（99回）	支部長・会長：小林治雄（65回） 副支部長・副会長：堀川精一（69回）、矢崎幹明（71回） 幹事長（兼任） 女性部長：北原薫（86回） 会計：土屋公男（72回） 監事：野口義輝（69回） 常任幹事：藤森諄二（64回）、山田巻義（64回）、山本建夫（64回）、藤森邦秀（65回）、小松喬（68回）、竹内達也（74回）、横沢達郎（76回）、守屋郁夫（74回）	支部長：加島範久（70回） 副会長：林靖（62回） 相談役：萩野浩（57回）、伊藤隆一（58回）、大森 尚人（68回） 幹事長：赤羽博（78回） 会計：福島正寿（80回） 事務局：加藤恒男（86回） 幹事：長谷川茂夫（60回）、根橋義太郎（71回）、川島弘（73回）、寺沢則子（79回）、武居保男（80回）、橋本実樹（83回）、中村海基（92回）、古村慎二（92回）、平泉規（94回）	支部長：岩本弘（65回） 副支部長：花岡佳市（71回）、赤羽昭彦（76回）、畑谷広治（79回）、小林豊茂（84回） 支部幹事：今井洋二（85回）
事務局連絡先	〒 562-0025 箕面市栗生外院 1-17-1311 TEL：072-727-3616 Email： hanaoka1311@yahoo.co.jp	〒 482-0034 岩倉市石仏町市ノ坪 19 番地ラ・グランデールセルビエ 603 号 TEL：090-6642-3445 Email： hisi19y@docomo.ne.jp	TEL：080-3939-0266 Email： tokyoseiryokai2017@gmail.com	〒 390-0813 松本市埋橋 1-9-14-501 矢崎幹明 TEL：090-5191-0333 FAX：0263-88-3082 Email： mofrei-yaz@outlook.jp	〒 399-0422 辰辰野町平出 1951 番地 1 TEL：090-9146-4018 Email： tsune21re@gmail.com	〒 380-0905 長野市鶴賀七瀬南部 519-1-210 今井洋二 TEL：090-8946-0217 Email： y-imai@naganoken-culture.co.jp
直近の支部総会	◎ 第 23 回 総 会 （ 令 和 2.3.15） 会場 大阪第一ホテル 議案書は、新型コロナウイルス対応でホテルから在宅メール会議（役員会）に変更し、可決承認	コロナ第一波の為中止となりました。	開催せず 議案は会報に記載し、賛否は返信ハガキで行い、いずれも可決	支部総会 10 月 24 日にビレネ倶楽部で開催予定であったが、コロナ感染予防を徹底するために中止とした。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を見送りました。	支部総会は例年 11 月に開催していたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況と、各分野から長野市や北信地域の同窓生が集まることを鑑み、2020 年度の開催を見送った。2019 年度の活動報告などは 2021 年度の支部総会で行う予定。
前年度活動	ゴルフ部会 春は、5/31（日）タ〜6/1（月）1泊 橋本市紀見荘 翌日、橋本カントリークラブ予定 →新型コロナウイルス対応で中止 歩こう部会 春は、「春の大和 海柘榴市（つばいち）から大神神社を歩く」を予定→新型コロナウイルス対応で秋に延期したがこれも中止 女性部会 実施なし カルチャー部会 実施なし 広報部会 会報 第 30 号 発行日 1 月 31 日 送付数 219 名 支部役員会 新型コロナウイルス対応で中止	東海支部“初”の令和 2 年 10 月 1 日発行（創刊号）会報を発行しました。 ※コロナ禍の中、多くの会員の方が原稿を寄せてくれました。 東海支部…新人会員の募集を 12 月上旬より行いました。1 月末日までに男性 1 名、女性 1 名の入会があり、全体で 91 名（東海支部）になりました。	東京清陵会だより 31 号の発行・清陵勉強会（隔月偶数月、オンライン開催）、事務局会議・幹事会（オンライン）、第 7 回働くことを考える若手の会（12 月・オンライン・出席 10 人）、第 4 回女子会（12 月・オンライン・出席 12 人）、第 7 回ミドル交流会（1 月、オンライン、出席 68 人）、東京同窓連、南信同窓連会議への出席、新しい三つの構想（人材バンク、同好会、エルダー倶楽部）の検討、オンライン開催に対応すべく zoom 契約締結、備品等の保管場所の移設	コロナ騒ぎであらゆる活動を中止している。 2021 年 4 月頃をめどに、役員会だけでも開催したいと考えるが開催時期は慎重対応とする。 役員会後、支部会員には、定例総会に上程される基本案件だけを書面で伝達し、書面審議を依頼する予定。	3 月 24 日役員会（当年度の支部総会について協議する予定です。）	2020 年 12 月 4 日、オンラインによる支部役員会を開催。支部長、副支部長、支部幹事の計 6 名が出席し、2020 年度支部総会の開催中止を決定した。合わせて小林豊茂副支部長の県外勤務に伴う後任の副支部長を樋代章平氏（86 回）とし、2021 年度支部総会で了承を得る方針を確認した。各副支部長らを通じて北信支部会員に文書で通知した。
今年度の計画	第 24 回総会議案書は在宅メール会議（役員会）で承認 部会構成と活動計画 ゴルフ部会 新型コロナ対応で未定 歩こう部会 春、秋 2 回開催予定 「大和 海柘榴市（つばいち）から大神神社を歩く」を予定 カルチャー部会 行事は計画中 広報部会 会報は年 1 回発行する 皆様の投稿をお待ちしています。 関西支部ホームページ開設 https://sites.google.com/view/seiryoku-kansai 女子部会 行事は計画中 支部役員会 必要に応じて開催する。	令和 3 年 8 月 7 日（土）・東海支部総会（ホテルメルパルク NAGOYA）11：30（AM）〜15：30（PM）予定です。	東京清陵会だより 32 号の発行、第 54 回総会・懇親会の開催（10 月 3 日オンラインも含めた開催形態を検討中）、清陵勉強会の開催（オンライン）、ゴルフ会の開催（検討中）、第 8 回ミドル交流会の開催（6 月・オンライン）、第 7 回新卒歓迎 / 学生交流会の開催（未定）、第 7 回働くことを考える若手の会開催（12 月・オンライン）、第 5 回女子会の開催（オンライン）、会員情報管理の高度化効率化推進、ホームページ活用拡充・facebook など SNS 活用による広報活動の充実、母校連携：付属中学東京研修旅行職場見学受入れ、高校キャリア教育講座に講師派遣（開催される場合）、コロナ禍での同窓会の意義・開催形態・新企画・本部 / 他支部との連携の模索と実現		未定	

	原支部	富士見支部	茅野支部	諏訪支部	下諏訪支部	岡谷支部
支部役員	支部長・会長：荒本敬悦（72回） 副支部長・副会長：藤原光郎（75回）、小林千展（79回） 顧問：小林貢三郎（52回）、清水澄（57回）、堀内元長（62回）、荒木桂男（63回） 会計監査：小平恒夫（71回）、小林明仁（71回）	支部長・会長：飯田幹夫（69回） 副支部長・副会長：小林茂光（72回）五味公守（74回） 女性部事務局：斉藤真澄（78回）	支部長：田村義明（70回） 副支部長：宮坂和生（73回） 事務局長：北沢政英（84回）	支部長：守屋 均（76回） 副支部長：河西秀樹（78回） 広報局：三井建三（76回） 会計：山崎義夫（77回） 女性部長：小口理子（84回） 事務局：藤森政明（76回） 監事：山崎尚志（75回） 監事：小泉和彦（74回） 相談役：久保田俊正（74回） 相談役：藤森孝真（74回）	支部長：林元夫（73回） 副支部長：山田孝實（72回）、濱克典（74回） 事務局：野村光夫（75回）	支部長：小口憲司（69回） 副支部長：宮坂好史（75回）、河西一彦（79回）、今村祐子（84回）
事務局連絡先	〒 391-0106 諏訪郡原村 10115-2 TEL：0266-79-4019 FAX：0266-79-4019 Email： qqvw8ux9k@time.ocn.ne.jp	〒 399-0211 富士見町富士見 8400-74 TEL：090-2336-2705 0266-62-2774 Email： kawai@po5.lcv.ne.jp	〒 391-0301 茅野市北山 6740-1 TEL：090-9665-3256 Email： luckykit@po29.lcv.ne.jp	〒 392-0010 諏訪市浜崎 1832 TEL：0266-52-5747 Email： applel0ve1616@yahoo.co.jp	〒 393-0003 下諏訪町萩倉 2620-5 TEL：0266-28-4381 FAX：0266-28-4381 Email： mnomu210@yahoo.co.jp	〒 394-8611 岡谷市郷田 2-1-8 諏訪信用金庫内 TEL：0266-23-4567 FAX：0266-24-4055 Email： jinji@suwashinkin.jp
直近の支部総会	新型コロナウイルスにより中止。	例年は 2 月に開催しているが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止とした。通常は、事業、会計報告、講演会、懇親会本部来賓含め 35 ～ 40 名の参加	支部総会中止（令和 3 年 2 月 13 日（土）予定）	中止	2020 年 4 月予定の令和元年度支部総会中止 2021 年 4 月予定の令和 2 年度支部総会中止	令和 2 年 12 月 22 日（火）開催の正副支部長会議において、コロナ禍の影響を勘案して令和 3 年度の支部総会開催中止を決定した
前年度活動	新型コロナウイルスにより中止。	12/17 三役会（総会、次期役員改選について） 物故者 6 名の葬儀香典（12 月、1 月、2 月、3 月、4 月） 支部長弔問	令和 2 年 11 月：支部幹事会書面決議（支部総会開催等について） 令和 3 年 2 月 13 日：支部総会中止 令和 3 年 5 月（予定）：支部幹事宛本部総会の通知及び出席取りまとめの依頼	9 月 4 日第 3 回支部役員会中止 10 月 2 日第 43 回支部役員会 中止	2020 年 4 月予定の令和元年度支部総会中止 2020 年 8 月予定の納涼会中止 2021 年 4 月予定の令和 2 年度支部総会中止	正副支部長会議 令和 2 年 12 月 22 日（火）11:30 ～
今年度の計画	原支部総会を 11 月 13 日（土）14 時より榎ノ木荘にて開催しますので、多くのご参加をお願いいたします。近年、原村立中学校の卒業生以外の方で、原村に移住された方や、首都圏との二拠点生活の方の参加者が増えておりますので、気軽に ご参加をお願いいたします。	12 月：役員会（地区総会について） 1 月：地区役員会（総会、会費集金について） 2 月：地区総会、講演会 随時：物故者の葬儀弔問	令和 3 年 11 月：支部幹事会（支部総会について） 令和 4 年 1 月：支部幹事会（支部総会について） 令和 4 年 2 月：支部総会開催 令和 4 年 5 月：支部幹事宛本部総会の通知及び出席取りまとめの依頼	9 月 3 日支部役員会（予定） 10 月 1 日支部役員会（予定）	2021 年 4 月予定の令和 2 年度支部総会中止 2021 年夏 納涼会 2022 年 4 月 令和 3 年度支部総会	正副支部長会議 支部役員会 支部総会 今後も若い世代や女性会員中心に声かけを行い、幅広い世代が参加できる支部活動を目指していきます。 事務局 藤森正樹（86 回生）

学年会短信

<49 回生>

昨年は、年を重ねること 90 才、卒寿の定例会（毎年 1 回、5 月 18 日）は、長引くコロナ禍のため、中止になりました。定例会の席上「各人の近況や体調管理」について語り合ってきましたが、60 数年つづいた機会を失い非常に残念でした。

我慢の日々がしばらく続き、気がふさがりますが、この世代にいられるのは儲けもの、楽しんで生きるぞと歓喜があふれ出すかのようで、老いてますます定例会を楽しみに期待するものです。多難な年ですが感染しない、感染させない、気を引き締め直す時だろう。平成 8 年同窓会長を歴任した宮坂久臣氏が 8 月に永眠され、その功績とお人柄を偲び、謹んでご冥福をお祈りします。

（東京一八会幹事 上原秀秋・小池光磨・折井秀彦・名取章）

<51 回生>

我々五一会は昨年（令和 2 年 10 月 28 日）、昭和・平成・令和三代にわたる長い歴史に幕を下ろし解散した。入学したのは旧制の諏訪中学、学制改革を経て卒業したのは新制の清陵高校。在学六年にわたり清水ヶ丘で生活をした。諏中・清陵を母校とする我々五一会員は例えれば同じ遺伝子を持つ仲間として、また同士としての絆は強く母校に対する思い入れ、愛着は一際強い。昭和二十六（1951）年卒業してから七十年、生年八十八歳の米寿を祝い、各人長かった人生を振り返り感涙に咽ぶ惜別の会となった。推して知るべし。歩み来たりし計り知れぬ各人の感慨をせてその片言隻句なりといえども残して置きたいと五一会文集「芙蓉」を作った。天寿を受けての、今日まで生き長らえた三十余名が寄稿。予想を超えての会員の協力ぶりに頭が下がる思いがした。内容といえは自治の伝統、在学時の回想、戦後の新教育、社会に出てからの足跡、学校行事（湖周マラソン・端艇大会等）、現在の近況など多彩である。文集は自筆



原稿によるオリジナル版である。在学中の写真を多く採り込み、恩師のプロフィール等、ページを開けば当時の様子が彷彿として甦る。清陵高校発足当時の学校内外の様子が紙上に映し出されており、後輩たちがこの文集を読み、何か参考になるのではないかと考えている。

なお、文集「芙蓉」の表紙には細川宗英（49 回生）さんの「鐸」を採用させて頂きました。以上

（51 回生学年幹事 平島佐一）

<52・55 回生 双樹会>

我々同期生は 1933 年生まれが多い。「米寿の会は盛大にやりたいものだ」と声が出て久しいが残念ながら実現しそうもない。東京、諏訪で続けられている月例会も休会中で、それぞれ十数人の常連が会の復活を心待ちしている。東京会場は都心でもあり再開は容易でないようだが、春と秋の例会、観桜会と高尾山小登山はできそう、となかなかの元気ぶり。諏訪の月例七日会も「ぼつぼつどうだ」と再開を促す声がかかりそうで、復活は意外に早いかもしれない。

双樹会が組織的活動を終息したのは 2018 年であるが、そのあとも東京と諏訪で例会は続けられている。たまには東京と諏訪の交流会があったり、理屈抜きに続けられている。それぞれの例会は今後も集うことの好きな仲間達に支えられて留まることはなさそうだ。

同期生は 352 人、戦後の学制改革の影響もあってやや多い。その内昨年までにわかっているだけで約 160 人が鬼籍に入っている。また昨年 9 月には林尚孝君がその仲間入りをした。林君は双樹会の諸活動を思うとき全てに軸になって大活躍してくれた大きな存在であっただけに、早めの旅だちは無念でならない。コロナ禍で焼香もできなくてしたが、ご子息からの連絡で、「1 月 9 日に菩提寺の諏訪市江音寺で四十九日の法要を行いたい」とのこと。諏訪在住の有志 8 名が法要に参列させてもらうことになり、盟友の霊前に詣で改めて冥福を祈願したところである。

（52・55 回生学年幹事 千葉春男）

<64 回生>

我が国に新型コロナウィルスが上陸してからもう 1 年以上になりました。その間、国民はウィルスの拡散防止に協力するために、マスク着用、三密回避と共に不要不急外出を控えるよう求められています。

私たち東京ザザムシ会（昭和 33 年入学の 64 回生）の有志は 10 年以上も前から毎月 1 回池袋の居酒屋に集合して交友を楽しんでいました。ところが昨年の 3 月、東京都知事の夜の街での飲食を伴う会合回避の呼びかけがあって、この大切な集まりを中止しなければならない事態となったのです。

しかし第 1 次緊急事態宣言下で巣籠の最中にインターネットを利用してグループ懇談会を開催することができたことを知りネットミーティングを始めました。喜寿を過ぎたメンバーですから当初は PC の操作に苦戦しましたが、1~2 週間もすると参加メンバーは 20 名を超えるのが当たり前になり、5 月以降は毎週土曜日の夜に決めて休むことなく開催しています。メンバーはこのネットミーティングを大変楽しみにしていて、この 3 月末には 54 回を数えることになります。

当初は東京ザザムシ会のメンバーで始まったネットミーティングですが、現在は諏訪地方は勿論、関西や北海道、遠くはヨーロッパにも常連がいて、それぞれの立ち位置から様々な話題を提供してくれます。全く、インターネットは距離と時間に対する観念を根元からひっくり返してくれました。

現在のネットミーティングでは、全く自由な歓談を楽しむ日と、講演者を決めて話題提供をしてもらい、その内容について意見交換をする場合とがあります。そのどちらにしてもさすがに清陵 OB というような面白さがあって、もっぱら聞き役に回っても 2 時間があっという間に過ぎてしまいます。

世話人役の私としてはこのネットミーティングがいつまで続くのかと気になるところです。コロナ禍が過ぎ去って自由に飲み会ができるようになって距離感から解放されたネットミーティングが要らなくなることは考えられません。

（東京ザザムシ会会長 花岡忠史）



<65 回生>

1、同年会について

恒例の同年会は、例年どおり秋に開催する予定です。

開催日時・場所等の詳細については、当番幹事の 5・6・7 部で検討中です。

夏頃には連絡しますので、多数の参加をお待ちしています。

2、「八日会」について

諏訪地域在住の 65 回生有志が集まっの飲み会である「八日会」は、引き続き実施しています。毎月 8 日の午後 6 時 30 分から上諏訪駅前の「いずみ屋」で固定開催していますので、気軽に参加してください。諏訪地域在住者以外でも諏訪へ来た際にはぜひ顔を出してください。

（65 回生学年幹事 青木成雄 0266-53-0072）

<66 回生>

コロナ禍でここ 1 年間例会を見合わせており、碌々会一同やるせない思いをしていたところまた友が他界、佐藤武夫君。嗚呼。

第 4 波襲来といわれる中、ワクチンを接種して出来る限り早い機会の再開（再会）を鶴首して待ちます。

（66 回生学年幹事 小口俊吉）

<69 回生>

◆ 69 回生「無垢の会」

新型コロナウイルスが全世界・日本で蔓延する中『皆さん集まって、大いに飲んで、大いに語ろう！』なんて昨年に引き続き今年も言えません。状況を見ながら行いたいと思います。

下記の行事の詳細は、メール・はがき等で通知します。

1 大懇親会・宿泊

日時 【予定】 10 月中旬～下旬

場所 【予定】 諏訪湖畔又は蓼科のホテル・旅館

担当 矢澤博（090-3312-1469）hiro.yaza.8974@gmail.com

2 親睦ゴルフ

85 歳まで、120 回開催に向けて皆で健康で頑張りましょう。

第 81 回：4 月 21 日（水）／第 82 回：6 月 23 日（水）／

第 83 回：9 月 1 日（水）／第 84 回：11 月 10 日（水）

会場 フォレストカントリークラブ三井の森

担当 小口憲司（090-3063-5871）okenji1107@softbank.ne.jp

3 定期総会終了後の懇親会

日時 6 月 26 日（土）午後 6 時 30 分より

場所 串焼一丁目（諏訪市大手一丁目）

担当 矢澤博（090-3312-1469）hiro.yaza.8974@gmail.com

4 「大久保邸」第七回夏の集い（ホームパーティー）

日時 8 月 10 日（火）午後 6 時より

場所 茅野市宮川「大久保智弘」邸

担当 大久保智弘（090-8301-7172）tomohiro.okubo823@gmail.com

担当 岩波寿亮（090-4010-4644）iwanami@suwatec.co.jp

5 東京支部総会終了後の懇親会

日時 10 月 3 日（日）午後 5 時より

場所 未定（別途連絡します）

担当 比田井昌英（090-2545-7038）masahide.takahidai@gmail.com

6 女子会 皆が集まりやすい曜日と場所を選定し幹事から連絡します。

担当 比田井和子（090-3335-5720）kazukoh@gb3.so-net.ne.jp
（69 回生学年幹事 矢澤 博）

<71 回生>

我々 71 回生は、17 年前の同窓会総会の当番幹事を務めて以来、毎年学年会懇親会・ゴルフ大会（年 2 回）を開催しています。

コロナ禍の終息が見えない中ですが、今年も 6 月 26 日には懇親会・ゴルフ大会を挙げる予定です。詳細は 71 回生メーリングリストでお知らせしますが、参加希望の方は下記幹事宛ご連絡下さい。

・学年懇親会 幹事 渋谷利明 090-4751-9642

・ゴルフ大会 幹事 小池孝博 0266-73-5892

71 回生メーリングリストに登録希望の方は渋谷までご連絡下さい。尚、今年の学年会・ゴルフ表彰式は、上諏訪温泉「ゆうむ 25」で行なう予定です。

（71 回生学生幹事 渋谷利明）

<73 回生>

我々 73 回生は、今年度中の誕生日で満 70 歳。「古希」は本来、数え年で祝う習わしなので、早生まれ組も今年の年明けで大台に届いた計算です。そろって到達できた節目を寿ぐ「古希の集い」を 10 月 23 日（土）に上諏訪温泉・浜の湯で開きます。実は、同期

内科 消化器科
KOJIMA CLINIC 小島クリニック

院長
小島 洋二（81 回生）

〒392-0021 長野県諏訪市上川 3 丁目 2205-5

TEL 0266-56-1212 FAX0266-56-1213

きくち泌尿器科クリニック
Kikuchi Urological Clinic

院長 菊池 俊樹
（83 回生）

〒392-0021 諏訪市上川 3 丁目 2314 番地

TEL：0266-78-1045

きれい工房 もう着られないと思った衣類も
復元加工で再生

大成クリーニング

代表取締役 玉本 弘人（85 回生）

諏訪市豊田 1830-6 TEL 0266-53-3121

平均点からトップ校へ合格！
いずみ塾®

ベルーフアカデミー
BERUF ACADEMY®

東進衛星予備校

i-cube TEL.0266-75-1150（月～金 09:00～21:00）
株式会社アイキューブ https://www.i-cube-education.jp

273人のうち既に旅立った仲間も30人を超えました。無念でなりません。懐かしい顔を偲ぶ追悼の念も込めつつ、記念誌の発刊に至った2年前の「卒後50年の集い」と同じ100人規模の結集をめざします。今回は集いに先立ち、同じ会場で講演会を企画しています。老年医学の著名な専門家として活躍している同期生の鳥羽研二君（東京都健康長寿医療センター理事長）が「認知症とフレイル」について予防の仕方を語ります。一般公開（入場無料）の予定で、「コロナ禍よ、落ち着いてくれ」と懇願中です。いずれ詳しい予告はご案内しますが、同窓生の皆さん、とりわけ年配層の方々には聞き逃さないテーマであり、ご来場を心待ちしています。

(73回生「なみの会」事務局長 山田 雄一)

<76回生>

新型コロナの影響で、お盆の同級会も東京の三金会もストップしたままですが、76回生の皆さん元気ですか？

そんなコロナ禍ですが、片山君の協力で、昨年5月から毎週金曜日にZoomによるオンライン飲み会が続いていて、仙台、関東、関西、そして諏訪から、毎週20名近い参加者となっています。毎回新鮮な話題を共有して勝手な議論をし、改めて我々76回生は個性豊かな学年だと思っています。

同級生の皆さん、気が向いたらオンライン飲み会に参加してみませんか。田中修君、あるいは朝倉まで連絡ください。

コロナの終息がなかなか見えませんが、リアル同級会での再会で元気で！

(76回生学年幹事 朝倉義信)

<77回生>

77回同期会諸兄姉の皆様へ、本年は予定通りですと同期会開催年にあたりますが、ご承知の如くコロナ禍の為、延期せざるを得ない状況であります。今後の様子をみてクラス幹事と協議、相談をして対応する心づもりですので、その点、ご理解を宜しくお願い申し上げます。くれぐれもお身体、ご自愛下さい。(学年幹事・クラス幹事一同)

(77回生学年幹事 長田光正)

<78回生>

このあいだ還暦を迎えたかと思ったら、早いもので60台も折り返し点を迎えようとしています。

体のあちこちにガタが来る頃でしょうが、元気で過ごしのことと思います。

我々78回生は、本年4月27日に清陵勉強会（75回生、有賀一温氏主宰）の講師に武居智久君（78回生、5部 第32代海上幕僚長）が選ばれたことをきっかけに、連絡が取れた78回生でコロナ禍の折、ZOOMを使ってリモート同期会を行いました。

そこで、今後様々なイベントを行う場合に皆様に随時ご案内が届くように改めて78回生の名簿を更新したいと思います。つきましては、78回生の皆様、下記メールアドレスに名前、何部、住所、電話番号、近況などを、差支えない範囲でメールをお送り下さい。

Seiry078@yahoo.co.jp 今後も皆様のご活躍を祈念いたします。

(78回生学年幹事 足立孝幸)

<79回生>

緑寿（66歳）祝いの会を予定しています。コロナ明け、御柱翌年にどうでしょうか。

また一緒に楽しい酒を酌み交わしませう。かかなき会幹事より

連絡先：岩波金太郎（79回生）hachimiya8@gmail.com

090-5810-0888

(79回生学年幹事 岩波金太郎)

<80回生>

例年は同期会（飲み会）の様子などを書いている80回生の学年短信ですが、この1年間飲み会はありませんでした。しかし、せっかくスペースをいただいているので、今年は同期生グループのFacebook、LINEで話題になった3名の活躍について書きたいと思っています。まずはコロナウイルス感染症患者の受け入れに関して何度もテレビや新聞に登場した松本市立病院院長の中村雅彦君。専門の脳外科手術よりも緊張する日々の連続だったのではないかと想像しています。次に、学区をひとつにして子どもたちの居場所を確保しようと「全小中学校統合」私案を発表して話題になった辰野町長の武井保男君です。まさに「自反而縮雖千萬人吾往矣」そのものです。反対する人は多いでしょうが頑張ってください。最後に映画評論家の上島春彦君が6冊目の著書「鈴木清順論—影なき声、声なき影」を上梓しました。原稿用紙3358枚の労作です。2020年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞しました。

この他にも還暦を過ぎてますます頑張っている同期生が大勢います。次の飲み会がいつになるかわかりませんが、その時には集い語り合ひましょう。

(80回生学年幹事 大久保純男)

<81回生>

一昨年の2019年に開催されました「還暦記念学年同窓会」には100名近い方々にご参加いただき、楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。

この同窓会の同日に行われました「下諏訪レガッタ」に同窓生が出場（2クルー）。これがきっかけとなり、その後もボート練習が続いています。2020年には、メンバーも増え、「下諏訪レガッタ」に3チームが出場し、「奨励賞」をいただきました。練習を重ねるごとにチームワークも高まり、また3チームの頂上決戦も開催するなど、チームで競っています。これからも体力を維持しながら、ボートを続けていきたいと思いますので、参加可能な同窓生（未経験者大歓迎）はご一報ください。

昨年はコロナ禍で中止となりましたが、毎年下記の行事を開催していますので、ぜひご出席ください。詳細は、メールでご連絡します。(メールアドレスが変更となった方はご連絡ください。)

①1月3日 新年会 17時頃から 上諏訪にて

②4月中旬 高鳥城のお花見（第2 or 3週の土曜日の夕方）

③6月の定期総会の日 定期総会の後に懇親会 上諏訪にて これからも様々な集まりを通じて、81回生の絆を深めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

メールアドレス：81kaiseisuwaseiry0@gmail.com

(81回生 山崎玲子)



<87回生>

2020年／令和2年度、歴史に残る年の当番幹事です。

昨年は年明け以降、前例のない状態にどう対処していくか、同窓会長、事務局長、各支部支部長をはじめ役員の皆様は悩みに悩んだ末の方向決めと判断は、大変なご苦労だったと思います。この先の当番幹事の皆さんも、これからは状況に応じた対応を迫られることになる予想されますが、むしろ過去にはない新しく自由な発想を入れていくチャンスとも言えます。

昨年の私達87回生と言えば、県内在住者、東京とその近隣在住者、それぞれ10人前後のメンバーが中心になって、情報交換やそれぞれの会報編集の協力体制をとって、時には足を運んでもらうこともあり。ところが昨年3月頃、世間の雲行きが一気に怪しくなり、各支部総会も次々中止になる中、まず会報は構成を変更、原稿も差し替えて、やり切りましょう、そして6月にもなれば全体総会も開催できるのではないか、と淡い期待を抱きつつ準備を進めましたが、残念、準備のために集まったり行動することさえままならず、会報発行以降の経緯は皆さんご存じの通りです。

準備段階では当然課題があります。四苦八苦して憂鬱になって、皆で喧々諤々して、でも最後は総会当日形になって、やり切った達成感で幕を閉じる！というストーリーだったのに、昇華できない想いだけが残ってしまいました。それでも、1年間時間を割いていろいろ考えて、動いてもらった皆さんに対して一言で済ませてしまうことはできませんが、本当にご苦労さまでした。

最後に、87回生でLINEとfacebookのグループを設定して、それぞれ80人余り参加していただきました。最近退会される方もおりましたが、邪魔にはならないと思いますので、是非そのままにしておいてください。周りが明るくなってきて慌てて飛び出さず、今しばらくはドアの隙間から外をうかがい、誰かがいいと言ったからではなくて、現実的に世間が回復できたら再会しましょう！

(87回生学年幹事 味澤敏行)

<88回生>

88回生は今年学年幹事となります。諏訪在住メンバ有志にて本部総会イベント企画の準備を進めています。イベントはオンライン企画で初めてのチャレンジとなりますが、宜しくお願いします。FaceBook 諏訪清陵高校88回卒業生へのアクセスもお願いします。また、東京清陵会での同様にオンラインイベントでの企画を予定しております。

(88回生学年幹事 倉科和則)

<92回生>

先輩オス！2025年130周年の当番幹事まで、あと4年となりました。50才の節目を迎え、皆さん更に、重要な立場になられていることでしょう。同期生では、竹内良之君が阿智中学校の校長に、清陵附属中にいた武井淳子さんが、上諏訪中の教頭先生になりました。130周年記念講演会でどなたか講師になって頂けるよう、更なる御活躍を心待ちにしています。

コロナ禍で、なかなか一堂に会することが出来ませんが、佐藤薫君にご協力いただき、Google MeetでのWeb九二会を4月17日に14名で行いました。次回Web九二会は6月19日（土）19時半から20時半まで開催予定（19時から入室可）です。参加ご希望の方、6月18日（金）迄に在籍時のクラスと、お名前、連絡先（携帯番号）のメールを下されば、URLをお送り致します。管理の都合上、できるだけ、19時20分までに、入室よろしくお願いします！

(92回生学年幹事 笠原 健一 kenkasa@imail.plala.or.jp)



極細線の精密微細加工

有限会社 光和製作所

代表取締役 打保 直樹 (89回生)

〒392-0131 長野県諏訪市湖南 872-1

TEL:0266-58-2355 FAX:0266-53-7968



そのキズ、ご相談ください!!
ウッド、サッシ、ホイール等のリペア承ります!!

トータルリペア吉山屋

代表 吉山 浩司 (88回生)

〒399-8304 長野県安曇野市穂高柏原4551-3

TEL: 090-3917-6105(携帯) FAX: 0263-81-3635

E-mail: info@yoshiyama-ya.com

URL http://www.yoshiyama-ya.com

あるがクリニック
泌尿器科・内科・腎臓内科

日本泌尿器科学会 専門医・指導医
日本腎臓学会 専門医
日本透析医学会 専門医

院長 医学博士 有賀 誠司 (87回生)

〒392-0002
長野県諏訪市湯の脇2-6-3
Tel 0266-78-1235 Fax 0266-78-1236
http://aruga-clinic.com

医療法人 **高原医院**
TAKAHARA CLINIC

整形外科・リハビリテーション科

院長 高原 健治 (93回生)

上伊那郡南箕輪村 5586 番地 2
0265-98-0385
http://www.takahara-clinic.jp

太陽工業株式会社
(太陽工業グループ)

精密加工業界のリーディングカンパニー

会社所在地

■本社工場／
〒392-8585 長野県諏訪市四賀107
☎0266-58-7000

■中洲工場／諏訪市中洲 4775

■諏訪南工場／茅野市金沢3410-10

■豊平工場／茅野市豊平 1528

■7/707センター／茅野市金沢3410-5

清陵高校クラブ後援会（3者）会計報告（PTA・同窓会・学友会）

平成9年度に同窓会・PTA・学友会により結成された「清陵高校クラブ後援会」も発足以来24年を経過しました。同窓会からは会員各位のご理解を得るなか、この間、約6,370万円のご援助をいただいてまいりました。

令和2年度は、コロナ禍のため、インターハイが中止となったほか、総文祭が開催方法を変更したこと、さらに関連するブロック大会や県大会も、中止あるいは縮小開催となったことから、例年に比べ少なくなりましたが、延べ34大会に380名の生徒が「清陵」の名を背負って参加し、頑張っておりまし。運動部は陸上部、スケート部、端艇部が全国大会出場を果たしたほか、文化部ではクイズ研究部が全国クラスの大会に出場しています。

令和2年度クラブ活動後援会（3者）会計決算

収入総額 8,884,859 円
支出総額 5,813,635 円
差引残高 3,031,224 円

収入の部 (単位：円)			
科 目	予算額	収入済額	差引増減
繰入金	7,000,000	7,000,000	0
同窓会	2,273,000	2,273,000	0
P T A	3,742,000	3,742,000	0
学友会	985,000	985,000	0
県費等補助金	298,950	23,800	△ 275,150
雑収入	25	34	9
繰越金	1,821,025	1,821,025	0
合 計	9,120,000	8,844,859	△ 275,141

「清陵高校クラブ活動・自反会 同窓会後援会」ご協力のお願い

平素は同窓会活動にご支援を戴き誠に有り難うございます。昨年は、年初からコロナウイルスの感染拡大そしてそれに伴う緊急事態宣言をうけて、生徒達は年度初めから休校が続き、普段の学習が出来ない状況が続き、学習活動に大きな支障を来してしまいました。

このような時こそ、同窓会が母校そして生徒達をしっかり支援していく時だと考え、特段のお願いを申し上げた処、大勢の同窓生より例年を上回る後援会費を納入いただきました。心より感謝申し上げます。

この後援会費は、平成9年から「清陵高校クラブ活動同窓会後援会費」として、母校のクラブ活動・同好会活動への補助として支援を始め、更に平成28年度からは、それに加え自反会（土曜日の補習授業、模試、進路指導、基礎学力確認テスト等）

また、令和2年度においては、クラブ活動の振興のため、トレーニングルームに暖房設備を設置したほか照明設備をLED化するなど、日頃のクラブ活動がより充実したものになるよう努めてきたところです。これらは同窓会会員の皆様をはじめとする後援会の皆様のおかげであると、生徒及び関係者一同、心より深く感謝しているところでございます。

令和3年度もコロナ禍の終息が見通せないなか、クラブ活動にも大きな影響が生じることが予想されますが、生徒たちが一生懸命クラブ活動に励むことができるよう学校としても一層努力してまいりますので、引き続き絶大なる支援を賜りますようお願い申し上げます。

(学校事務長 宮城 清幸)

支出の部 (単位：円)			
科 目	予算額	支出済額	差引増減
生徒遠征費	4,170,000	1,397,614	2,772,386
大会参加費	600,000	324,640	275,360
登録料	800,000	768,391	31,609
施設使用料	1,300,000	1,273,110	26,890
事務費	1,920,000	1,830,540	89,460
備品購入費	300,000	219,340	80,660
予備費	30,000	0	30,000
合 計	9,120,000	5,813,635	3,306,365

や課外学習の充実支援を目的にPTA等とともに同窓会としても輝かしい伝統を未来に繋げるべく、より多くの同窓生にご支援をお願いしてきたものです。

コロナ収束もまだまだ見通せない中、このご趣旨をご理解いただき今年度もより多くの同窓生より後援会費（10,000円）を納入いただきますようお願い申し上げます。

ご送金方法

○同封の「ゆうちょ銀行 払込取扱票」をお願い致します。振込手数料は本会の負担ですが、節約のため、可能な限り「ATM」をご利用願います。

○ご都合で5年分一括でない場合は、お手数ですが金額を訂正してお振り込み願います。

小口悦子 ピアノ・ソルフェージュ教室



講師
武蔵野音楽大学ピアノ科卒
小口悦子 (88回生)
東京藝術大学楽理科卒
小口梨菜 (115回生)
〒394-0081
岡谷市長地権現町2-15-26
Tel & Fax : 0266-28-6287
etsuko.oguchi@gmail.com
https://oguchi.jimdo.com

クラブ後援会会員芳名 (敬称略)

以下の名簿は、平成31年4月1日～令和2年3月31日に、会費をお振込み頂いた方々です。ご協力ありがとうございました。

38回生 北原 文雄 42回生 黒河内三郎 43回生 小泉 末也 44回生 片倉 久夫 五味 誠 45回生 東条 和雄 林 四郎 原藤 卓郎 宮坂 裕 46回生 武井 厚隆 47回生 茅野 茂治 原田 瑞夫 48回生 小口 隆也 木下 芳英 茅野作之助 小池 賢 溝口 章夫 宮坂 知夫 山村 泰彦 49回生 牛山 精一 笠原善市朗 笠原 正道 北澤 素幸 小池 要人 土橋 達也 土橋 祐治 宮澤 龍人 山岡 利行 50回生 小口 国弘 柿澤 重喜 唐澤 重雄 小泉 作一 関 伊助 中村 脩一 松野 嵩 51回生 今井 好昭 岩波 裕治 太田 信男 小泉 伸蔵 小林 俊介 小松 袈伴 林 将雄 藤森 定義 西尾 照男 三輪 祐司 柳平 直明 横川 端 笠原 邦三 金子 信也 田中 敏夫 茅野 實 浜 一栄 両角庄二郎 米澤 時雄	渡邊 義郎 55回生 太田 弘道 56回生 河西 啓二 友吉 瑛子 北原 良郷 小松 茂 小松 文吉 酒井 利男 酒井 敏夫 武居 富夫 武居 浩明 永坂 開市 中村 宏 平塚 一實 藤森 正信 降幡 照子 青木 瑞枝 松見 佳樹 守矢 哲 矢崎 和雄 安田 正一 鎌倉 剛一 菊池 敏一 久保田一夫 小平 徳次 小松 寛之 57回生 荻野 浩 黒河内謙一 小林 晋作 五味 乙 五味 瑞治 坂本 宣夫 藤原 貞美 篠原 康夫 清水 勝 立石 邦久 茅野 嘉利 土橋 健夫 名取 修二 花岡 英明 森 邦子 牧 庄一 水野 一也 溝口 幸二 宮澤 功吉 和田 昭通 58回生 赤羽 正臣 今井 正喜 笠原 忠夫 小林 英雄 茅野 充男 早川 恭昭 林 秀剛 林 良一 平林 佳治 宮沢 則雄 守田 恒 矢崎 晴信 吉田 嵩 59回生 飯田 力也 伊藤 忠三 伊藤 正弘 加賀美久高 北川 廣紀 小尾口 満	小松 守 俊信 金野 真幸 清水 徹哉 白倉 宏治 武居 瑛子 土橋 貞夫 中川 良平 鮎沢 茂登 林 孝典 林 正幸 細野 祐 松下 勲 豊国 矢崎 山田 皓一 60回生 青沼 貞雄 池場 康友 伊藤 和彦 小川 浩史 小川 博巳 河西 敏勝 善実 剛一 鎌倉 敏一 久保田一夫 小平 徳次 小松 寛之 五味 章次 関 滋 永田 郷雄 野澤 勲 波間 哲郎 林 豊 藤森 和弘 堀 晃 小平 利昌 矢崎清太郎 深見 靖正 米沢 豊 61回生 有賀 嘉信 太田 龍朗 小川 文啓 河西 康次 河野 靖好 川村 昌平 北原 隆 藤澤 玄雄 篠崎 知明 下枝 晴彦 花岡 斎 中村 隆一 小林 五郎 平野 国政 藤森 邦彦 堀内 洋治 堀川喜代太郎 宮坂純一郎 宮坂 真也 宮坂 幸男 高見澤忠明 62回生 秋田 英一 小口健一郎 清水 和親	瀬木 潔 田中 明雄 中島 澄雄 中村 勉 永由 俊二 林 靖 藤森 郁男 藤森 健司 両角 晃一 63回生 牛山 省吾 海野 肇 尾澤 弘久 尾澤 容 河合 信也 小松 廣茂 竹本 正行 長谷川文規 浜 弘毅 平井 満 平澤 豊満 藤森 宏一 牧 成治 両角 實 亘理美代子 柳沢 寛 吉原 千文 64回生 小口 哲男 小口 壽夫 小飼 隆文 小松 史俊 五味 勝 小川 由英 坂本 功 祖父江宏三 武井 直人 千野 眞士 堀内 啓史 新村 恩 宮澤 玄治 山崎 晃 山田 勝俊 山田 卷義 横内 稔 芳澤 宅實 65回生 青木 成雄 池田 昌純 岩本 弘 大日方 眞 春日 芳夫 木村 博 五味 正明 竹村 友一 浜 一吉 藤森 邦秀 保坂 俊正 細田 正昭 植松 武敏 小口 治 小口 俊吉 蒲地 重明 河合 三彦 小澤 智己	小平 正八 佐藤 武夫 英則 賢一 降幡 洋 松崎 雅弘 丸茂 忠之 宮島 忠之 67回生 大久保大伸 小池 光二 高木 智彦 竹村 善雄 浜野 孝雄 藤森 勝一 丸茂 義典 三井 敏彦 矢萩 哲也 山田 稔 山田 佳宏 山本 巖 横田森太郎 68回生 赤羽 清明 牛山 和義 松川 陽子 小松 順一 武井 正文 宮坂 静 藤森 照信 百瀬 昌夫 69回生 青沼 水門 岩波 隆 上田 典胤 上原 直樹 牛山 隆夫 岡村 善夫 松澤 睦司 小林 正俊 小林 正秀 権東 明 坂井 俊英 比田井昌英 高山 猛英 塚平 均 津金 正典 土田 昌 中村 正治 花岡 正 林 史章 比田井和子 増沢 和人 宮原 栄一 矢澤 博 山田 正昭 山田 岳秀 吉江 春人 70回生 小口 卓男 小口 俊光 小林 金好 進藤 政臣 藤森 廣幸 溝口 弘雄 矢崎 勝美 藤森 行雄	矢島 芳明 71回生 伊藤 洋一 岩本 達雄 奥山 秀人 窪田 昭男 小林 精治 磯野 康子 洪江 利明 竹内 一 濱 研一 増澤 博和 72回生 新井 滋平 有賀 邦男 池田 守人 小口 邦雄 笠原 初雄 熊崎 秀和 小口 隆夫 小林 史 津金 省吾 中村 博 宮澤 繁子 73回生 浅川 辰司 有賀 博行 マディン啓子 岩間 光泰 牛山 則雄 窪田 敏 小島 誠二 小松 大蔵 原 大 松田 光明 堀田 文昭 山田 雄一 74回生 大滝 精一 小口 哲男 小口 寿彦 金井 良一 北原 嘉泰 久保田俊正 高木 健治 松本 哲郎 75回生 有賀 泰成 河西 英治 田中 義清 土橋 安康 平出 俊二 藤沢 進一 76回生 朝倉 義信 石井 和夫 大滝 啓吉 金子 次男 小池 一平 坂本 茂樹 関屋 孝行 高橋 肇 田沼 唯士 花岡 博茂 樋口 節夫	松田 昌幸 渡辺 修 77回生 岡崎 芳次 小口 武男 藤松伸二郎 春日 敏彦 久保川道矢 小林 祥一 小松 正彦 薩摩林恭子 武居 丈二 土橋 一郎 宣子 智彦 金子 恵子 平出 美彦 堀田 康之 牧内 敬英 宮坂 友英 渡辺 恵祐 78回生 足立 孝幸 伊藤 高光 小松 一俊 高見 俊樹 79回生 飯田 良 市瀬 章 河西 一彦 原田 健 80回生 白田 和生 織田 吉夫 工藤 千秋 武居 光雄 増澤 俊幸 山崎 康雄 81回生 小澤 弘 小島 洋二 鈴木 章彦 諏訪 雅顕 田中 輝明 丸山 久則 三枝 貴 宮坂 敦尚 82回生 小野 隆吾 宮坂 浩志 83回生 新澤みどり 上原 正道 小野 博正 河西 君秋 上條 浩一 五味 弘昌 中村 美穂 松崎 任宏 宮澤 茂樹 山崎 泰三 84回生 井上 幸彦 今村 祐子 杉山 美貴 立木 繁	平林 和之 翠川 隆 85回生 河西 孝信 北原 武 長田 里美 宮坂 一彦 86回生 赤羽 隆 高沢佳代子 植松 満幸 宮下 真美 清水 俊樹 清水 直樹 青木 裕子 中澤 美三 中島 剛 永田 隆 樋代 章平 山田 幸 87回生 有賀 誠司 石田 晋也 福澤あけみ 88回生 武井 芳彦 長井 俊彦 増澤 浩一 89回生 関 淳一 敦賀不二佳 横井 秀俊 90回生 飯田あづみ 坂口 みほ 小濱 健一 古村 雅利 西瀬 祥一 福島千登世 百瀬 達雄 矢崎 宏明 91回生 後町 昌紀 上條 恵理 藤森 完一 藤森 裕司 百瀬 賢志 92回生 荒井 亮一 今井 宗泰 笠原 健一 山口 奏子 清水 博長 清水 雅仁 新村 克英 藤森 伝太 望月 一弘 93回生 高原 健治 宮坂 清 94回生 滝澤 正治 95回生 松浦亜紀子 小林 啓二 小松 貴弘	高山 美歩 96回生 上原 俊樹 田中 雄一 小濱 知実 97回生 川崎 剛 98回生 平川 哲 99回生 小口 和恵 鈴木 歩 100回生 竹村 宏介 102回生 笠原 稔大 中澤みのり 103回生 牛山 貴広 104回生 土田 実 105回生 藤森 達也 三澤 康弘 106回生 小池 佑治 108回生 早川 露子 109回生 小口 駿人 110回生 須藤 詩織 111回生 岩間 翠 武居 雅樹 112回生 矢崎健太郎 113回生 吉川静海月 115回生 武居 悠樹 119回生 藤森 美樹 120回生 前田 優太 武藤 和羽 山田 和也 122回生 酒井 大輔 塚原 桂 宮下 真衣 123回生 大蔵 流水
--	---	---	--	---	--	--	---	---